

令和6年度使用小学校用教科用図書

専門員調査研究報告書

令和5年8月9日（水）

埼玉県第四採択地区教科用図書採択協議会

目次

| | |
|------|---------|
| 国語 | 1 ~ 3 |
| 書写 | 4 ~ 6 |
| 社会 | 7 ~ 9 |
| 地図 | 10 ~ 11 |
| 算数 | 12 ~ 17 |
| 理科 | 18 ~ 22 |
| 生活 | 23 ~ 28 |
| 音楽 | 29 ~ 30 |
| 図画工作 | 31 ~ 32 |
| 家庭 | 33 ~ 34 |
| 保健 | 35 ~ 40 |
| 英語 | 41 ~ 46 |
| 道徳 | 57 ~ 64 |

種目（国語）

| | | |
|---------------------|---|--------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>新編 新しい国語</p> | <p>2</p> <p>東書</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○言葉に関する単元は、基礎的・基本的な知識・技能の習得のための小単元と、文法・語彙に焦点化した「言葉の相談室」等に分類されている。QRコードを読み取ることで、当該学年以外の「学習で使う言葉」を確認することができる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「デジタルノートの作り方」が示されており、1人1台タブレットを児童の思考の補助ツールとして活用できるよう工夫されている。</p> <p>○説明的文章では「読み取り・読み比べ・情報活用・考えを広げ深める」、文学的文章では「音読・場面に着目・人物に着目・表現に着目・感想や考えをもつ」という内容が少しずつレベルアップしながら配列されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○既習事項や日常生活に関する事柄を取り上げて学習意欲を高めたり、自ら学習を価値づけられる問いかけがされたりと導入や振り返りに工夫がされている。</p> <p><言語感覚を養うための工夫></p> <p>○巻末の「ことばの広場」には、他教科等や日常生活でも生かせる豊富な語句が示されている。</p> <p><読書に親しむ態度の育成を通し、読書習慣を形成するための工夫></p> <p>○各単元で示される関連図書の多くが提示されていたり、日本十進分類表についてもくわしく説明されたりしている。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○児童の興味関心を高めるような現代的テーマを教材として取り上げ、さまざまな分野から多様な情報を読み取れるよう工夫している。</p> <p>○動画、音声、ウェブ資料、デジタルノート、写真、図などの資料がQRコードで確認できる資料が数多く掲載されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○横書き表記について、促音、拗音、長音に特化してマス目で示し、表記の仕方を正確に理解できるようにしている。</p> <p>○スタートアップカリキュラムの視点で、リズムカルな読み物から始まり、文字と音の感覚的なつながりから国語の学習に入っていけるよう工夫されている。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○当該学年の横の系統と前学年・次学年の縦の系統を意識した教材の配列となっている。また、デジタルコンテンツが豊富に用意されており、授業だけでなく家庭学習での学習など、様々な場面で使用することができるよう工夫されている。さらに、多層指導モデル「MIM」の導入など、児童の多様なニーズに配慮した内容となっている。</p> | |

種目（国語）

| | | |
|---------------------|--|---------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>ひろがる言葉 小学国語</p> | <p>17</p> <p>教出</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「言葉の働き」「話し言葉・書き言葉」「語彙」「文や文章」「言葉遣い」「言葉の由来や変化」の6系統で配置されている。巻末の「言葉の道具箱」の「学ぶときに使う言葉」に、学習で使用する言葉とくわしい説明がまとめてられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○日常生活や学校生活に関連した目的意識や必要感を重視した単元を設定することで、伝え合う力や思考力等を養うことができるよう工夫されている。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」では「スピーチ」「話し合い」「説明・報告」など、それぞれの領域で学習内容の難易度があがっていくような配列となっており言語能力を育成できるよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○巻頭の「ひろがる言葉」を確認することで、児童が各単元の学習だけでなく年間の学習の見通しをもつことができるよう工夫されている。</p> <p><言語感覚を養うための工夫></p> <p>○「言葉の文化」では、季節の言葉などが集められ日本語への興味をもたせる工夫がされている。色彩感覚でも和の趣を感じ取れるよう工夫されている。</p> <p><読書に親しむ態度の育成を通し、読書習慣を形成するための工夫></p> <p>○児童に人気のある作品を取り上げ紹介している。短時間で行うことができる読書活動を紹介しており、読書活動に取り組みやすい工夫がされている。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○学習場面のイメージを補う挿絵が多く効果的に掲載されており、児童が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○写真や動画、資料、ワークシート、リンクのQRコードを読み取ることで、学びのリンクの内容を確認することができようになっている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用しており、どの児童にとっても読みやすい字体となっている。</p> <p>○登場人物の体や声の大きさを想像するための補助として、意図的にフォントサイズを変えて表記している。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○単元の言語活動が弾力的で、他教科等の学習と関連付けたカリキュラム・マネジメントを行いやすい内容となっている。特に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の内容が実生活や今後の児童の活動に生かしやすいように工夫されている。また、全学年の教科書が上下分冊となっている。</p> | |

種目（国語）

| 項目 | 書名 国語 | 38 光村 |
|-------|--|----------|
| 内 容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○巻末に当該学年と当該学年以下で学習した言葉のくわしい説明がまとめられている。説明的文章を学習した後に文章を書く学習が設定されているなど、語彙・文法・表記の仕方といった学習内容を系統的に学びやすく工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各単元の学習が、学習や生活から「問いをもつ」「課題解決の活動」「振り返り」「学習や生活に生かす」で構成されており、能力の向上を実感しやすくなっている。 ○「話すこと・聞くこと」では、「聞く」「話し合う」「話す」という学習内容が学年ごとにスパイラル的に配列されていたり、「書くこと」では、小単元で学習した内容を大単元で生かして学習したりと段階を踏んで言語活動が設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭のブックインブックでは、国語を学ぶ意義を考え、国語の学習への期待感と意欲を高められるよう工夫されている。</p> <p><言語感覚を養うための工夫> ○第1学年の上巻では、七五調で読める文章を多く取り扱うことにより、リズムカルに音読し、日本語の特徴的なリズムを体感できるよう工夫されている。</p> <p><読書に親しむ態度の育成を通し、読書習慣を形成するための工夫> ○4月は図書館利用の学習、7月は読書に関するメタ認知を促す学習が設定されている。7月は多様なジャンルを示し読書の楽しさを広げる工夫がされている。</p> | |
| 資 料 | <p>○巻末「図を使って考えよう」には、思考を整理したり広げたりする方法や思考ツール、考えを表現する際の話型や文型が示され、個別最適・協働的な学びを促す。</p> <p>○動画、音声、写真・図、資料などのデジタルコンテンツが、QRコードで確認できるようになっており児童の主体的な学びの助けとなる。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○各学年配当漢字を全て本文中に使用しているが、新出漢字を当該ページ欄外に語として抽出することで読みの負担を軽減している。</p> <p>○文学的文章・説明的文章とも読みごたえのある教材となっている。下学年の説明的文章は、文章構成や接続詞等が意識され理解・活用しやすく工夫されている。</p> | |
| 総 括 | <p>○第1学年から第4学年は上下分冊、第5学年・第6学年は年間1冊という構成となっており、発達の段階に応じて見通しをもった学習が行いやすいように工夫されている。また、児童が主体的に学習の意義をつかめるようになっており、「教師が教える」から「児童が学ぶ」へ、子供が主語となる授業となるよう工夫されている。</p> | |

種目（書写）

| 項目 | 書名 新編 新しい 書写 | 2 東 書 |
|-------|--|----------|
| 内 容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○系統的に整理した小学校の学習内容のそれぞれのポイントを「書写のかぎ」として示している。どの学年も巻末にその学年までに学習する「書写のかぎ」が丁寧にまとめられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「見つけよう」では、「～だろう」など児童に問いかけるようにしており、読む人に伝わる文字になるのかを考えさせるよう、比較したり理由を考えたり、話し合ったりしながら課題を見つけられるよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○全学年で「学びを生かそう」の単元を設定し、相手意識をもたせることで、学習したことを生かして書くことができるよう工夫されている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連> ○硬筆の中から見出した課題を毛筆で大きく書いて点画の書き方や運筆を確認し、その成果をさらに硬筆で他の文字に生かして書くよう関連付けている。</p> <p><各教科や日常生活との関わり> ○理科の実験記録や委員会活動のリーフレットの書き方など、各教科等の学習や日常生活における書く場面と目的に合った書き方を具体例としてあげて示している。巻末に「学びを生かそう」を設け、他教科や日常生活での活用につなげている。</p> | |
| 資 料 | <p>○用具の準備や片付け方の説明が具体的に丁寧に示されており、書きやすい姿勢、筆記用具の持ち方とともに各学年同じように示されているので児童が理解しやすい。</p> <p>○QRコードで字形シミュレーションを活用することで、実際に点画の長さや配列を変えることが可能で、字形やバランスや違いを実感することができる。運筆動画は繰り返し再生ができ、筆の動きやポイントをイメージしやすい。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○毛筆の穂先の動きを赤で示したり、筆圧の強さを点の大きさを変えて3段階で表したり、筆の動きを「とん」「すう」「びた」とイメージしやすい表現を用いている。</p> <p>○使用する色を少なくし濃淡等で違いを表すことで、分かりやすく落ち着いた感じの印象の紙面となっている。</p> | |
| 総 括 | <p>○前学年までの学習のポイントが巻末にまとめられていたり、児童に考えさせたいことを吹き出しにしていたり、学習内容がクイズ形式になっていたり、児童が課題に対して主体的に考えながら取り組むことができるよう工夫されている。また、説明が端的でわかりやすく写真も用いられていたり、適度な余白があったり、UDフォントを採用するなど、どの児童にとってもわかりやすい紙面となっている。</p> | |

種目（書写）

| | | |
|---------------------|---|---------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>小学 書写</p> | <p>17</p> <p>教出</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○中心線や筆順を入れた全体図で配列や文字の大きさを示し、ポイントとなる筆づかいについては拡大図で示している。筆の動かし方の説明も具体的でイメージしやすい表現となっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○全学年で手紙やはがきを書く学習を系統的に扱い、手紙等を受け取る相手を意識させることで課題意識をもたせ、課題解決に向けた思考を促している。各学年で同様の学習内容を扱うことで、既習事項を生かして考える活動を行うことができる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○1年間の学びを可視化する目次、1時間の学習の見通しを示す「学習の進め方」、「なぜ毛筆を学習するのか」を3年生で扱うなど、学ぶ意義や学び方を示している。</p> <p><毛筆と硬筆との関連></p> <p>○毛筆の学習の前後に、硬筆で教科書に書き込み文字の変化を児童自身が実感し学びの成果を確認することができるよう工夫されている。</p> <p><各教科や日常生活との関わり></p> <p>○手紙やはがきを書く学習を各学年の学習活動に合わせて系統的に扱っている。書写で学んだことを生かせる場を目次に示している。「レッツトライ」でノートやポスターの書き方を取り上げ、日常生活との関連を図っている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○巻頭に姿勢や用具の持ち方や扱い方を写真と合い言葉で示している。低学年の巻末には水書用紙が添付されており、筆の動かし方が例示されている。</p> <p>○各学年に共通している資料とともに、「紙ばさみの作り方」や「練習用紙の作り方」などそれぞれの学年に応じた資料も示されている。「学びリンク」には、「なぜ腰をのばすのか」など児童の疑問に答える資料が掲載されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○「穂先の向きは10時半」、鉛筆の持ち方を「ぱちぱち」「ころころ」、運筆を「びたっ」「すうっ」「とんっ」などイメージしやすい表現を用いている。</p> <p>○毛筆の穂先が赤で示されているのとあわせて、実際に動かした筆の写真が示されていたり、筆圧の強さを点の大きさを変えて3段階で示したりしている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○最初に手本を示し、次のページにめあて・考えよう・ここが大切・生かそう・振り返ろう・広げようと学習を深めていく構成となっている。また、先生や児童、動物などのキャラクターが多く登場し、考える視点や大切なポイントなどを示している。毛筆教材では、運筆の様子が筆の写真とオノマトペ、キャラクターの動作で示され、動画資料がなくてもわかりやすいように工夫されている。</p> | |

種目（書写）

| 項目 | 書名 書写 | 38 光村 |
|-------|---|----------|
| 内容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習のポイントが一目でわかるように「たいせつ」として示され、巻末には当該学年の学習のポイントが「たいせつのまとめ」として掲載されている。前学年までの内容はQRコードで確認することができる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「学習の進め方」では、「たいせつ」をもとに大事なことを確かめ第4学年では教科書の手本に気をつけることを書き込み、第5・6学年では、筆で書いた文字をタブレットで撮影し自分の課題を見つけ、自分で考えを表現する学習となっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「学習の進め方」を文章や写真で示したり、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の学習過程が示されたりと、何をどう学ぶかイメージしやすく工夫されている。</p> <p><毛筆と硬筆との関連> ○毛筆の学習の後に「生かそう」という学習活動が設定され、毛筆で学んだことを硬筆で確認することができるよう硬筆欄が設けられている。</p> <p><各教科や日常生活との関わり> ○国語と連動した教材が前学年に設定されていたり、新聞、リーフレット、インタビューメモなどが取り上げられていたり学習の必然性を高める工夫がされている。第3～5学年では手紙の書き方を教材として、系統的に学習できるようにしている。</p> | |
| 資料 | <p>○用具の準備・片付け、書く時の姿勢などの説明が具体的でわかりやすく、どの学年も同じ内容で示され、さらに肘の高さなど学年に応じた内容が追加されている。</p> <p>○書写や毛筆のスタートブック、SDGsブック、書写ブックなど学年に応じた資料が添付されているとともに、QRコードで筆づかいの解説動画やさまざまな動画・写真・補助教材・参考資料を確認することができる。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○穂先の動きが赤で示されているのと合わせて、動かした筆の写真やキャラクターの動きでも示されたり、筆圧の強弱を点の大きさを示されたりしてわかりやすい。</p> <p>○「たいせつ」のみを薄い色合いで示し、文字やキャラクターを少なくすることで、シンプルで見やすく落ち着いた印象の紙面となっている。</p> | |
| 総括 | <p>○1時間の指導事項が「右はらい」「左はらい」などのように複数ページに分けて示されていることで、見やすい紙面でポイントを理解しやすく工夫されている。筆づかいの動画資料も上と斜めからの映像やポイント解説で学びが深まるよう工夫されている。全学年の「ことば」の教材で学習内容と日常生活を関連付けている。1ページの中で使用する色、フォントや文字の大きさに配慮がされ落ち着いた印象を受ける。</p> | |

種目（ 社 会 ）

| | | |
|------------------|--|------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>新編 新しい社会</p> | <p>2 東 書</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「まなび方コーナー」が適所に設けられており、具体的な学習の技能や方法（プレゼンテーションの作り方、話合いの仕方など）を各学年の発達段階に合わせたものに工夫されている。 ○QRコードコンテンツにワークシートが収納されており、学習内容の整理が容易となっている。また、家庭学習等でも活用しやすいよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○キャラクターの吹き出しが効果的に掲載されており、社会的な見方・考え方を働かせて学習が進められるよう工夫されている。 ○单元ごとに「まとめる」ページが設けられているため、新聞にしたり、発表資料を作成したり、調べたことを話し合ったりする等の活動例を参考にして、児童の思考力・判断力を付けられるよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「まなび方コーナー」には、市役所へ取材に行く際の手順が掲載されているなど、児童にとって学び方を身に付けることができるよう工夫されている。 ○「いかす」には、学習したことを生かして社会的な事柄について自分たちができることを考え、参画するなどの場が掲載されており、地域社会の一員としての自覚がもてるよう工夫されている。</p> <p><学習問題を追究し解決する活動の充実を図るための工夫> ○各学年の最初の单元に、問題解決的な「学習の進め方」を例示し、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階をたどりながら、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○見開き1ページで構成されており、写真、グラフ、イラストなどが豊富で児童にとってわかりやすく掲載されおり、特に地図が鮮明で詳細に示されるなど工夫されている。 ○QRコードコンテンツには、まとめる際のワークシートや実際に働いている人のインタビュー動画等があり、活用しやすいよう工夫されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○児童に親しみのあるキャラクターを目印として使用し、社会科の学習が進めやすいよう工夫されている。 ○キャラクターのセリフによって文章が展開されているため、説明だけでなく実際に会話しているように学習が進められる。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○問題解決的な学習ができるよう「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習段階を経ながら学べるよう工夫されている。 ○登場キャラクターによる社会的な見方・考え方があることで、その時間に身に付けるべき内容がわかるよう工夫されている。</p> | |

種目（ 社 会 ）

| | | |
|------------------|--|------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>小学社会</p> | <p>17 教出</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「キーワード」や語句解釈が掲載されており、学習問題を解決していく上で必要な知識が定着しやすいよう工夫されている。 ○「学びのてびき」コーナーがあり、資料を読み取る視点や考えるべきポイントがわかりやすく示しており、全学年を通じて系統的に資料活用の技能を習得できるよう工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「まとめる」には、文章にまとめる、発表する、話し合うなどの多様な対話的な活動の例が掲載されており、思考ツールやICTの活用方法等まとめ方が例示されているため、自分の考えを表現しやすいよう工夫されている。 ○「つなげる」には、身近な生活に直結するような課題や事例が紹介されており、思考力や判断力を育成させることができるよう工夫されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○社会科の学習の進め方が例示されており、「つかむ、調べる、まとめる、つなげる」という学習のサイクルを意識しながら学習できるよう工夫されている。 ○「学びのてびき」のコーナーが設置されており、意見を出し合って学習問題をつくる方法が記述されているなど、対話的な活動を取り入れながら学べるよう工夫されている。 <学習問題を追究し解決する活動の充実を図るための工夫> ○追究の過程を振り返るページである「前の学年をふり返ろう」では、何を学んだのか、何ができるようになったのか、どうやって学んだのかがわかるよう工夫されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○モノクロ写真をカラー化する工夫がされており、児童が考えを深められるようになっている。 ○QRコードコンテンツには、クイズ等児童の興味・関心をもたせるようなコンテンツがあり、国土地理院やGoogle Map、NHK for Schoolといった外部のサイトにアクセスできるよう工夫されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○QRコードコンテンツに動画やワークシートがまとめられており、写真だけではわかりにくい様子がいくつかの動画を視聴することでとらえられるよう工夫されている。 ○幅広の判型になっており、資料が大きく見やすく配置され、関連して捉えられるよう工夫されている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○児童の「問い」を中心に学習を展開していくことが重視されており、調べたり、考えたりする力が身に付くよう工夫されている。 ○QRコードコンテンツを活用して豊富な資料を見ることができ、学びを広げることができるよう工夫されている。</p> | |

種目（ 社 会 ）

| | | |
|------------------|---|--------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>小学社会</p> | <p>116 日 文</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「学び方・調べ方コーナー」が設定されており、資料の読み取りや調査活動を通して、情報を適切に調べ、まとめることができるよう工夫されている。 ○「見方・考え方コーナー」、「キーワード」、「むずかしい言葉」が設定されており、児童が社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えられるよう工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「友だちの発言（思考力、判断力、表現力等を活用した話し合い）」の標記があり、児童が互いに話し合い、聞き合うことで、多面的な思考や理解へと高め合うことができるよう工夫されている。 ○「学び方・調べ方コーナー」では、具体的な思考方法や調査方法について示されており、特色や意味などを深く調べ、考えることができるよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○特設ページとして「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」を設定し、各単元の問題意識や興味・関心から児童がSDGsの達成を自分事として考え、行動できるよう工夫されている。 ○「さらに考えさせたい問題」を設定し、単元の学習内容を広げ、地域社会の一員としての自覚を養うための工夫がされている。</p> <p><学習問題を追究し解決する活動の充実を図るための工夫> ○巻頭に教科書の使い方のページが設定されており、学習問題をつかみ、追究することで考えを深め合い、解決していく問題解決的な学習の進め方ができるよう工夫されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○QRコードコンテンツが豊富で内容が充実しており、児童の学習が効果的に進められるようMicrosoftのWord、やGoogleドキュメントがワークシートとして掲載されている。 ○導入ページには、インパクトのある写真やイラストを中心に構成されており、児童の興味関心が高められるよう工夫されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○問題解決的な学習が進められるように1見開き1時間で授業が進められるよう工夫されている。 ○図や写真が見やすく、写真の読み取り方がコラムで紹介されており、資料の活用がしやすくなるよう工夫されている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○インデックスが設定されており、問題を発見する、追究・解決する、ほりさげ、未来に生かすという学習の進め方を児童が意識して進められるよう工夫されている。 ○QRコードコンテンツが充実しており、主体的な学習が進められるよう工夫されている。</p> | |

種目（ 地 図 ）

| | | |
|----------|--|----------|
| 書名 項目 | 新編 新しい地図帳 | 2 東 書 |
| 内 容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地方ごとに色分けされており、地図記号や方位、縮尺等、基礎的・基本的なことが丁寧に解説されている。 ○QRコンテンツには、クイズや動画で地図のきまりや都道府県名、地名などの習得ができるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料ページには、自然、工業、産業、歴史、伝統文化があり、多様なテーマの主題図を大きく表現しており、児童に理解しやすいように工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図を積極的に開くきっかけとなるよう「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」のコーナーが設けられており、楽しく問いや作業に取り組みながら、地図への関心や地図を読む力が高められるよう工夫されている。 <p><地図・統計等資料の特徴></p> <ul style="list-style-type: none"> ○主な歴史の舞台、世界遺産、ラムサール条約や世界ジオパークの登録地などについて、個別の記号を設けて注目できるように地図に示されている。また巻末の統計資料では農業の生産額の単位が円で統一されているため比べやすい。 | |
| 資 料 | <ul style="list-style-type: none"> ○索引の色分けが2色で見やすく、例示がありわかりやすくなっている。また、チェック欄を設けており、児童の学びの足跡が付けられるよう工夫されている。 ○「地図のきまり」と関連させて、ゲーム感覚で地図の基本や地図帳の使い方を学べるQRコンテンツを設けている。 ○社会科以外の教科でも地図帳を活用できるよう気候の資料地図、日本の特色ある料理、方位磁針の使い方などが掲載されている。 | |
| 表記・表現 | <ul style="list-style-type: none"> ○地図中の文字や記号は大きくなっており、字体は丸ゴシックを使い、親しみやすいよう工夫されている。 ○土地の高さや海の深さは色で分けて見やすくしている。また、土地の利用については、記号を用いており、色だけで判別することが苦手な児童にも配慮されている。 | |
| 総 括 | <ul style="list-style-type: none"> ○地図学習のページでは、地図とは何かをキャラクターが漫画仕立てでガイドされており、第3学年から楽しく地図学習が進められるよう工夫されている。 ○資料ページには、自然、工業、産業、歴史、伝統文化があり、多様なテーマの主題図が大きく表現されている。 ○社会科の学習に関連する地域のドローン動画、地図の基本がわかるクイズなど、QRコンテンツが設けられている。 | |

種目（地 図）

| | | |
|------------------|---|-------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>楽しく学ぶ 小学生の地図帳</p> | <p>46 帝 国</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「地図のやくそく」・「地図帳の使い方」では、将来にわたって地図活用の技能を生かせるように、地図の概念、方位や地図記号等が丁寧に解説されている。 ○「地図マスターへの道」として、地図活用技能や知識が身に付けられるような問いが各所に配置されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○キャラクターによって、地図の見方を示したり、「地図だとどこから見た景色かな」という問いかけがあったり、実際の写真を重ねながら考える工夫がある。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○デジタル端末を活用して学習が深められるようにQRコードコンテンツがある。それによって、児童が知的好奇心をもちながら動画やクイズ、アニメーションなどを見ることができるようになっている。</p> <p><地図・統計等資料の特徴> ○歴史学習や他教科等の学習にも活用できるように、歴史の地名や歴史的事項を地図中に掲載している。また、各国の自然や文化などの特徴を地図と関連させて考えられるようにしている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○初めて地図帳を使用する3年生のために「地図のやくそく」を掲載し、地図の成り立ちや地図帳の使い方、方位や地図記号、色などについて理解を深められるよう工夫されている。 ○索引には、都道府県名や県庁所在地には赤文字を、日本の歴史地名には青色文字を使用して見つけやすいよう工夫されている。 ○QRコードを活用し、動画やクイズで学べるよう工夫されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○教師役のキャラクターによる「問いかけ」によって、「地図マスターへの道」の学習活動をさらに深められるよう工夫されている。 ○日本の各地方を見る地図は、生活の舞台が読み取れるように、土地の高さによる色分けと使われ方による色分けを組み合わせた地図表現にしている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○「地図のやくそく」・「地図帳の使い方」が掲載されており、地図の概念、方位や地図記号等が丁寧に解説されている。 ○歴史学習や他教科等の学習にも活用できるように、歴史の地名や歴史的事項、各国の自然などが地図中に掲載されている。 ○資料ページにはSDGsの特設ページが掲載され、各地の課題や取組を理解できるよう工夫されている。</p> | |

種目（算数）

| | | |
|------------------|---|-----------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>新編 新しい算数</p> | <p>2 東書</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○単元末の学習の仕上げのコーナーに、「生かしてみよう」を設け、日常のある事象から問題を数理的に処理することができる。第2学年以上の各巻末に「ほじゅうの問題」「おもしろ問題にチャレンジ」「ふりかえりコーナー」が設定され、繰り返し、学習できる。各単元の学習に入る前に「おぼえているかな」を設け、当該単元に活用できる知識・技能を再確認できるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○第2学年以上に、統合的な考え方を促せるように「同じように考えると？を、発展的な考え方を促せるように「それなら」と第3学年以上に「それなら次は」を新設している。同様に、「今日の深い学び」では、1つの問題解決過程にとどまらず、更なる数学的な問題をつくり、課題解決学習が行えるように工夫している。各単元末に「つないでいこう算数の目」を設け、数学的な見方・考え方の視点を明示するとともに、復習ができる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元末に「できるようになったこと」「次に考えてみたいこと」を示し、振り返りの観点が具体的に示され、振り返りやすくなっている。さらに、単元によって、単元末に「いかしてみよう」を設定し、身の回りのものを題材に、算数での学びを生かすことができる。単元途中に「今日の深い学び」を設け、既存の学習から課題解決学習の過程を具体的に示しながら、新たな学びにつなげることができる。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○20の単元の導入において「オープニングムービー」が設定され、日常の事象を数理的に処理する様子が動画で流れ、課題を数理的に捉えることができる。 ○学習問題に対し、キャラクターの吹き出し及び、小設問の積み重ねにより、焦点化された学習課題を導き、主体的に学習を進めることができる。 ○単元途中の「今日の深い学び」による課題解決の支援や単元末の「つないでいこう算数の目」による数学的な見方・考え方による支援がある。 ○学習課題に対する数学的表現の意図を複数のキャラクターが解説し、それぞれの考</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○再生紙や植物油インキを使用し、環境やシックスクールにも配慮している。 ○実物の写真を使用し、実生活との関連を意識しやすいようにしている。 ○言葉・式・図等を関連付けながら捉えやすいレイアウトになっている。 ○全学年に数学的活動に使う資料が設けられている。 ○統計データの素材として、SDGsの観点でデータを扱い、今日的課題解決に結びつけている。必要感をもってグラフ・表が作成できるよう場面設定がされている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○全学年の全ての文章で文節改行をして、文章を読みやすくしている。 ○自社開発のUD教科書体により、文字を太くし、視認性を向上させている。 ○全学年ページ数字を白抜きにし、他の数字と区別しやすいようにしている。 ○新出の算数用語等は、太文字かつマーカーを使用している。 ○全学年問題文とまとめの文は枠囲みをし、着目しやすくしている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○単元によっては、資質・能力を確実に身に付けられるよう、吹き出しや補助発問を多く設定し、それ以降は前半の資質・能力を生かせるよう、吹き出しや補助発問を精選している。 ○プログラミング教育に関しては、第4学年以上にプログラミング体験ができるようになっており、それぞれに細かい練習ステップがある。</p> | |

種目（算数）

| | | |
|------------------|---|------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>新版 たのしい算数</p> | <p>4 大日本</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○第3学年以上に、SDGsに係る日常の問題が掲載され、数学的に処理することを行える。第1学年から第3学年に「おうちで算数」を設け、学習した内容を日常で生かせるように促している。よくある間違いを含めた「練習」、単元末の「プラス・ワン」により習熟できる。各単元の学習に入る前に「新しい学習を始めるよ」を設け、QRコードも併用し、既習事項を振り返ることができるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○第2学年以上の巻頭に「算数の大切な考え方」を新設し、演繹・類推・帰納・発展の考え方を専用キャラクターで示し、各ページに表記したり、巻頭のひらめきアイテムに学んだことを書き込むことができるようにしたりしている。単元末の「たしかめ問題」の多くに、「見方・考え方」を確かめることができる問題が設定されている。第4学年以上の巻末に当該学年で学ぶ「数直線のかき方」を示している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元末に「単元全体をふりかえろう」を新設し、最初の単元では、各キャラクターの吹き出しに振り返り事例が掲載され、振り返りやすくなっている。また、巻頭に「算数の学び方」を設定し、学習が1回ずつ途切れるのではなく、連続して回っていることがわかるようにしている。さらに、「ふくろう先生なるほど教室」を設定し、学習を発展的に導いたり、生活に生かしたりできるようにしている。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○日常の問題を数理的処理する際、数直線をつくる等、紙面以外でもデジタルコンテンツを活用して、試行錯誤しながら数理的処理を行うことができる。 ○めあての前にキャラクターの吹き出しを新設し、その観点により、主体的に学習のめあてを立てることができるようになっている。 ○巻頭に「算数の学び方」を設け、課題解決学習のプロセスを、学習が常に連続してつながっていることも含め、事例を活用しながら学ぶことができる。 ○黒板の前面に立った実在の児童写真やキャラクターが、吹き出しにより、他者の考え方を説明している場面を取り入れている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○環境に配慮した紙や植物油インキを使用し、シックスクールにも配慮している。 ○写真やイラスト、吹き出しが実生活に結びついている。 ○数直線、ドットプロットは、方眼紙が背景に使われている。 ○表やグラフは他教科等に関連した資料を取り扱っており、マークで示している。 ○統計データの素材として、SDGsの観点でデータを扱い、今日的課題解決に結びつけている。必要感をもってグラフ・表が作成できるよう場面設定がされている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○全学年の全ての文章で単語の途中改行をせず、読みやすい位置で改行している。 ○UDフォントを使用し、見やすくしている。 ○学習課題は「めあて」の赤文字と黒太文字に黄色のアンダーラインで統一している。 ○新出の算数用語はふりがなをつけ、青い線で囲み、太字にしている。 ○全学年重要な内容には、枠囲みをし、わかりやすくしている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○第2学年以上は1冊の合本となっている。また、数学的な見方・考え方や思考力の育成を重視している。さらに、幼保小連携の観点から第1学年に中綴じ製本の1巻を新設し、新しい環境へ移行しやすいように配慮している。 ○プログラミングにふれる活動を全学年に設け、第2学年以降はアンプラグドプログラミング教材とビジュアルプログラミング教材の両方を設けている。</p> | |

種目（算数）

| | | |
|------------------|--|-------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>みんなと学ぶ 小学校 算数</p> | <p>11 学 図</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○全学年に「算数をつかって」を設定し、日常事象への知識・技能の活用を図ることができる。単元の冒頭に「？を発見」を設け、日常の生活場面から算数の問題を発見できるようにしている。学習内容の定着を図るため、「できるようになったこと」（QRコードで更に出題）及び「学びを生かそう」「もっと算数」を設定している。数理的処理内容を数直線、式、表、面積図と相互に関連させながら示している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○数学的な考え方を9つに分類し、それぞれがキャラクター化され、吹き出しの内容で示されている。吹き出しを活用し、既習事項の想起とそれを活用した解決方法を考えることができるようになっている。「ふりかえろう・つなげよう」を設け、統合的・発展的な思考を促している。第3学年以上に「図や表をつかって考えよう」を設け、使った場面を具体的に示しながら、復習できるようにしている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元末に「考え方モンスターでふりかえろう」を新設し、数学的見方・考え方の視点で学習内容を振り返ることができる。さらに同ページで「？をかいけつ！」「つなげたいな」も新設し、学習のつながり・発展の視点を示し、更なる学習を促している。また、「ふりかえろう、つなげよう」や「算数をつかって」を設け、既習事項を確認するとともに、さらに学習や生活に生かせるようにしている。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○単元導入で「？を発見」が設定され、日常の事象を数理的に処理する場面がイラストの吹き出し及びデジタル動画で示され、課題を数理的に捉えることができる。 ○学習問題に対し、キャラクターの吹き出しにより、様々な考えが出され、焦点化された学習課題が導けるようになっている。 ○課題解決の際に、そこで活用できる数学的見方・考え方の専属キャラクターの吹き出しが示され、課題解決を支援している。 ○児童のキャラクターの考えが示され、それに対し複数の児童キャラクターがその考え方の特徴や考え方を説明している場面を取り入れている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○A B版を採用し、紙面を広く取り、書き込みがしやすくなっている。 ○環境に配慮した紙や植物油インキを使用し、シックスクールにも配慮している。 ○挿絵や写真を多く取り入れ、臨場感を出し、興味関心を引き出せるようにしている。 ○道具使用の作図場面では、連続写真を使っており、具体的な使い方がわかりやすい。 ○統計データの素材として、SDGsの観点でデータを扱い、今日的課題解決に結びつけている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○全学年の全ての文章で読みやすい位置で改行し、読みやすくしている。 ○UDフォントを使用し、従来よりもやや太くはっきり読めるようにしている。 ○学習課題は「めあて」の赤文字と黒太文字で統一している。 ○算数用語や記号は、他の文字とフォントを変え、太文字にしている。 ○全学年重要事項は、枠囲みをし、学習のまとめがすぐわかるようにしている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○全国学力・学習状況調査の正答率の低い問題やつまづきやすい問題を掲載した「算数パトロール隊」が設けられている。また、各ページに数学の見方・考え方を記載し、数学的な見方・考え方を重視している。 ○プログラミング教育については、全学年でプログラミングができるようになっている。様々な動作や学習問題がある。</p> | |

種目（算数）

| 項目 | 書名 | 17 教出 |
|-------|--|----------|
| 内容 | <p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時のまとめ部分にQRコードの「まとめアニメーション」があり、視覚的にまとめの内容がわかる。巻末に「学びの手引き」を設け、数学的表現の表現手順を掲載し、その中の「学びのマップ」では、現単元と前学年以前の既習単元をリンクさせ関連がわかるようにしたり、QRコードの「まなびリンク」を設定したりして、思考の促しや知識・技能の定着、関連コンテンツによる学びを進めることができる。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャラクターの吹き出しにより、発展的な思考や統合的な思考を促している。「つながるミカタ」を設定し、大切な見方・考え方を振り返ることができる。巻頭に前学年までに習得した「算数で使いたい見方・考え方」「いつも大切にしたい算数の考え方」を設定し、数学的な見方・考え方を意識できるようにしている。「学びの手引き」を設定し、数学的表現を具体例で示し、技能の定着を図っている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元によっては、単元末に「学んだことを使おう」を設定し、学んだ内容が使えると便利な問題を解くことができる。また、第6学年では「算数をふり返ろう！もっと楽しもう！」を新設し、学んだ内容を復習したり、学んだ内容を発展させた学習に取り組んだり、生活に生かされている場面を学んだり、調べたりすることができる。算数の学習をさらに広げて楽しめるようになっている。 <p>＜数学的活動を充実させるための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元末に【まとめ】を新設し、4コマ漫画で日常の問題を数理的に処理している過程を端的にわかりやすく示している。 ○学習展開が基本的に「はてな？」「なるほど！」「だったら！？」で構成され、「だったら！？」の後、次の算数問題につなげたり、発展問題を促したりしている。 ○巻頭に「みんなで算数をはじめよう！」を新設し、課題解決学習で発生する「発見」「話し合いでの深まり」「更なる発見」「更なる疑問」のポイントが示されている。 ○机を寄せて写真の人物が吹き出しで話し合っている場面や黒板の前に写真の人物やキャラクターが話し合っている場面を取り入れている。 | |
| 資料 | <ul style="list-style-type: none"> ○再生紙と植物油インキを使用し、表紙には抗菌加工を施している。 ○体験的活動場面で写真を用いて動機付けを図っている。 ○作図の仕方の場面では、連続写真により手順をわかりやすく示している。 ○キャラクターは、言葉遣いや服の色等、固定観念で性別特定しない配慮をしている。 ○統計データの素材として、第5学年で食品ロスに関するデータや発電のエネルギー源のデータといったSDGsに関わる題材を取り上げている。 | |
| 表記・表現 | <ul style="list-style-type: none"> ○全学年の全ての文章で読みやすい改行に配慮している。 ○UDデジタル教科書体を使用し、見やすくしている。 ○学習課題は「？」の白抜き柿色マーク、囲みは長丸に背景は柿色で統一している。 ○算数用語は文字の背面がクリーム色、赤の【】囲い、柿色の太文字表記である。 ○第1学年には、助数詞一覧を掲載している。 | |
| 総括 | <ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査等の正答率の低い問題に↓マークをつけるとともに、考えるヒントを掲載している。学年末に「算数をつかって考えよう」を設定し、全国学力・学習状況調査で出題される傾向の問題を扱っている。 ○プログラミング教育については、5学年に簡単なプログラミングができるようになっている。 | |

種目（算数）

| | | |
|------------------|---|-------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>わくわく 算数</p> | <p>61 啓林館</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○日常事象や既習事項を問題として取り上げるとともに、学習展開においてキャラクターの吹き出しや補助設問により学習課題設定や問題解決ができる。「たしかめよう」「練習・復習」を設定するとともに、習熟度に応じて「もっと練習」で内容の定着が図れる。各単元の学習に入る前に当該単元に係る既習事項を確認するページを設け、当該単元に活用できる知識・技能を再確認できるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○単元の導入段階で「これから学習することのめあて」を明示し、見通しをもって学習できるようにしている。第4学年以上の巻頭に「算数で使いたい考え方の進め方」を設定し、数学的思考の具体的内容を示している。第2学年以上に「見方・考え方を深めよう」を設定し、ここでも問題解決の過程で図・表・式で表現したり、話し合ったりすることを促している。単元の扉や「準備」で既習内容の確認ができる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元末に知識・技能、思考力・判断力・表現力に関する問題を掲載し、振り返りのページがあり、QRコードでヒントや答えを確認できる。また、多くの単元末に「ふりかえろう」を設定し、単元の振り返りの具体例を記載している。さらに「学びをいかそう やってみよう」を併設し、学びを生かして考えられる算数の問題等を掲載し、学びが日常生活や算数に生かせることを実感することができる。</p> <p><数学的活動を充実させるための工夫> ○単元導入のページに、「これから学習することのめあて」を設定し、本単元でどのような数理的処理を行っていくのか、見通しをもつことができる。 ○必要な数学の見方・考え方がキャラクターの吹き出しにマーカー付きで示され、取り組みやすい。また、「自分の力で」を設定し、既習事項を生かした解決ができる。 ○第2学年以上の巻頭に「算数で使いたい考え方の進め方」を新設し、既習の6つの数学的思考を示し、それを活用するよう促している。 ○キャラクターが吹き出しにより、自らの考え方の要点を述べた上で、具体的な数理的処理を記載するようにしている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○環境に配慮した再生紙やアレルギーに配慮した植物油インキを使用している。 ○生活に密着した題材には、写真及び挿絵を使用している。 ○作業場面では児童が実際に活動している臨場感のある写真や動画を使用している。 ○書き込みをしやすい紙の巻末の付録により具体操作を伴った理解ができる。 ○第3学年以上に「わくわくSDGs」のページを設け、SDGsの観点から統計データを示し、算数を使って分析し、自分達に何ができるか考えることができる。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○全学年文章の改行位置を意味のある区切りで行い、読みやすくしている。 ○教科書体を基本としたUDフォントを使用し、見やすくしている。 ○学習課題は「めあて」の白抜きオレンジとオレンジ文字で統一している。 ○算数用語の背面は薄い柿色で、上下の赤線で挟み、黒色の太文字で表記している。 ○挿絵や写真上に文字が重なる場合は、文字の背景等を白くし読みやすくしている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○「復習」のページ内に「！」を付け、全国学力・学習状況調査等で正答率の低かった問題を扱っている。 ○プログラミング教育については、全学年で系統的に（順次→反復→条件分岐）プログラミングができるようになってきている。また、全学年スクラッチとオリジナルコンテンツの2種類が用意されている。</p> | |

種目（算数）

| | | |
|------------------|--|--------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>小学算数</p> | <p>116 日 文</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○第2学年以上で単元間及び学年末の「復習」問題に「見方・考え方をみがこう」を設定し、日常の事象を数学的に処理する際に働かせる数学的見方・考え方を学べる。同じく巻末に「しっかりチェック」を設け、知識・技能の習熟や定着が図れるようにしている。全学年、本文中の練習問題の他、単元末の「わかっているかな」「たしかめよう」でも、知識・技能の習熟が図れるようになっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○単元中の所々に「見方・考え方」の欄を設定し、見通しを立てたり、筋道立てて考えたりするための着眼点を示している。第2学年以降に、学年末等で設けられた「見方・考え方をみがこう」により、問題を統合的・発展的に捉えられるようにしている。第2学年以上の巻末に「算数でつかいたい見方・考え方」を設け、10項目の見方・考え方を具体例とともに示し、その定着が図れるようにしている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○多くの単元末に「振り返り」コーナーを設け、単元の振り返りができる。また、巻末に「学び方ガイド」を設定し、振り返りも含め、課題解決に必要な視点を示している。併せて、「使ってみよう」のページを設け、本単元で学んだ学習内容を活用して、生活や算数問題に生かせるようになっている。また第2学年以上の「算数ジャンプ」や巻末「算数マイトライ」で、日常的な問題や発展的な問題に挑戦できる。 <数学的活動を充実させるための工夫> ○各単元導入ページにおいて、本単元で学習する算数的問題がわかるようになっている。また、各時間に働かせる数学的見方・考え方が示されている。 ○各単元導入ページにおいて、本単元で活用する数学的表現を意図的に示したり、復習という形で取り扱ったりしている。 ○いくつかの単元途中に「自分でみんなで」を設定し、課題解決学習の流れを解説しながら、具体的に課題解決学習に取り組めるようになっている。 ○「自分でみんなで」を設定し、数学的な表現を黒板を背景にして説明したり、キャラクターが吹き出しで話し合ったりしている場面を設けている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○用紙は軽量で裏写りの少ないもので、人体に優しい植物性インクを使用している。 ○写真や準備する物を提示し、学習内容を生活の場面に生かせる工夫をしている。 ○キャラクターは男女の性による服装や役割の固定化がないように配慮している。 ○作業的場面で活用できる巻末の切り取り用図形等にはミシン目が入っている。 ○SDGsに関連した題材・データを取り上げ、課題解決を促している。第6学年では、データを収集する際に、信頼性のあるデータの検索先を掲載している。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○全学年の全ての文章で文節改行をして、文章を読みやすくしている。 ○教科書体・ゴシック体にUDフォントを使用し、視認性を向上させている。 ○学習課題は「めあて」の赤文字と黒太文字、赤下線で統一している。 ○まとめはまとめの赤文字と黒太文字、背景を薄オレンジで統一している。 ○算数用語等は、2つの隅に「」、中は薄オレンジの背景に黒太文字で表記している。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○第5～6学年は既習事項を振り返りやすくなるように各1冊になっており、教科担任制を意識した「しおりのひも」がついている。第5～6学年のデータの活用については、「PPDAC」について解説し、その説明や事例を掲載している。 ○プログラミング教育については、全学年でプログラミングができるようになっている。5・6年はスクラッチで、他学年はアンブラグドとなっている。</p> | |

種目（理科）

| | | |
|---------------------|--|--------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>新編 新しい理科</p> | <p>2</p> <p>東書</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○単元末『ふりかえろう』では手書きのノート風に学習内容が短くまとめられ、重要事項が確認できるようになっている。また、巻末『理科の調べ方を身につけよう』では、ノートのまとめ方・話し合いの仕方がわかるように工夫され、器具の説明もまとめられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○単元の導入では、日常生活や既習事項に関連させる『思い出そう』があり、考えをもちやすい。「問題→実験→まとめ」の流れが大きく表示され、今、どのような活動を行っているか確かめられるように工夫されている。また、考えるヒントやまとめるヒントをキャラクターが伝えることで、児童の思考の補助となっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○『広げよう！理科の発想』ではさらに調べたり、学びを生かして考えたり、発表したりする取組が設定されている。単元の導入にはアクティビティがあり、体験的に科学事象への興味をもつことができるようになっている。また、学習の前と後に同じ問いで知っていること（わかったこと）を書かせ、成長を感じさせる工夫がある。</p> <p><環境との関わりや安全性への配慮></p> <p>○巻末の1ページで該当学年の学習内容とSDGsの関連が示され、『理科の世界たんけん部』では、学習内容を発展させ、現在や将来に役立つ技術の紹介がある。安全面では、『きけん』アイコンとともに説明にて注意喚起を促し、器具の操作方法や注意点については巻末にまとめて掲載し、繰り返し確認できるようになっている。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○写真やイラストがバランスよく配置され、児童にとって実験や観察がしにくいものの描写もリアルに表現されている。特に単元の導入場面では、大判の写真を用いることで児童の興味関心を高められるよう工夫されている。</p> <p>○実験方法についてQRコード、資料が用意されている。</p> <p>○実験や観察内容が時間経過とともに変化するものについては、小さな写真を連続させることで、児童が学べるように工夫されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○文字よりもイラストや図、数値による表現が目立ち、視覚的に情報を取り入れる事ができる。</p> <p>○重要語句はまとめや説明の中で緑色の下線が引かれ、強調されている。</p> <p>○問題とまとめを正対させ、簡単な文章で表現することでわかりやすくなるよう構成されている。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○大判な教科書を生かした大型写真による導入がなされている。</p> <p>○全学年の教科書冒頭に、その学年で学ぶことが科学のどの分野なのかまとめられ、系統性が児童にも理解できるように工夫されるとともに、「シンプルな問題→まとめ」の流れで、わかりやすさを重視している。</p> <p>○実験や観察のページには、準備するものにチェックボックスがあり、感染症対策についての表記がある。</p> | |

種目（理科）

| | | |
|---------------------|--|---------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>新版 たのしい理科</p> | <p>4</p> <p>大日本</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○「考察→結論」を同じ色で示し、学ぶべきものへ帰着するよう、表示の工夫がある。単元末『確かめよう』では、知識・技能を問う問題で定着を図るようになっている。また、実験器具の使い方は巻末にまとめて掲載し、実験の都度、使えるようになっている。実験器具のQRコードもページ内に記載され、確認できるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○キャラクターの吹き出しを中心に、考え方や見方、気付きや様々な意見に触れられ、結論へと導く工夫がある。また、考察する場面が結論よりも前に来ているため、観察結果をもとに思考を巡らせる構成になっている。実験や観察の結果は次ページに来るよう配置されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○各学年の重点を『○年生では、特にココ！』で身に付けたい力を明示している。また、学習の流れ「見つけよう・調べよう・伝えよう」に分け、単元内でも共通の色でゾーニングしている。『りかのたまてばこ』では学習内容を様々な事象に関連付けることにより、学習を広げる工夫がある。</p> <p><環境との関わりや安全性への配慮></p> <p>○単元内の資料や読み物などに独自の『SDGsマーク』を設け、関連を示している。特に6学年では巻末6ページに渡りSDGsを取り上げている。安全面では、実験の場面において「注意」アイコンとともに説明で注意喚起を促し、同色（赤）の線で囲みを設けて強調する工夫がある。実験・観察のページには、理科室の使い方が見られるようにページ数を載せている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○単元の導入ページは見開きで、大判の写真資料で興味を高める工夫がある。特に3年生冒頭「しぜんのかんさつ」では、あえて植物・動物の様子をイラストで表示し、生活科から理科になったばかりの児童に配慮している。</p> <p>○解説や資料、導入用の動画など、ほぼ全ページにQRコードによる資料がある。</p> <p>○自然の観察や夜間の様子などは、適宜イラストに変更して掲示することで、児童にわかりやすい挿絵になるように工夫している。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○学習活動を促す部分では語りかけるように（口語）、結果やまとめなどは事実として説明（文語）で示されている。</p> <p>○重要語句は文章中に太字で表記され、確認しやすくなっている。</p> <p>○問題・予想・実験・結果と学習の流れによってページの色味が変わり、今どんな学習段階にいるのか視覚的にわかりやすい。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○視覚的で詳細な資料が活用しやすい大判サイズとなっている。余白等レイアウトも配慮されている。</p> <p>○問題→緑、実験・観察→オレンジ、まとめ→青、と落ち着いた色味で学習場面を示し、落ち着いて学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○問題やまとめでは、平易な言葉を使って表記され、コラム内では比較的発展的な内容を扱っている。場面によって言葉の使い分けがされている。</p> | |

種目（理科）

| | | |
|---------------------|---|----------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>みんなと学ぶ 小学校 理科</p> | <p>11</p> <p>学 図</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○単元末『ふりかえろう』や『ふりかえろう』にあるQRコードにて、単元の復習問題に取り組むことができる。実験器具の使い方が学習の途中に配置されていて、学習を途切れさせることなく、道具の使い方を身に付けることができる。『やってみよう』にて、確かめる活動や説明する活動を取り入れ、正しい知識の定着を図る構成になっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○キャラクターの吹き出しを中心に、気づきや疑問が展開され、考察では考える視点のはっきりと示されている。実験結果を記録する欄が教科書内に設けられていたり、結果から考えるヒントが掲出されていたりする。また、結果を記入する欄は、穴埋めになっている部分があり、学習に不安がある児童は表現しやすい工夫がある。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○理科の学習に必要な見方・考え方を『理科モンスター』として単元の最初に示すことで、どのような力を使って進めていけばいいのか、児童が興味をもって学習を進められる工夫がある。単元の最初の場面では、写真で活動の様子や、自然の様子が掲載されている。導入を通して、学ぶことの見通しがもてるように工夫されている。</p> <p><環境との関わりや安全性への配慮></p> <p>○全学年、裏表紙はSDGsに特化している。目次の中にその単元と関連のあるSDGsの目標との関連がわかるような工夫がある。安全面では、レイアウトの中で赤色「注意！」を用いて安全指導がされている。実験や観察の場面ごとに、そのページ内に実験器具の使い方を掲出している。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○導入ページは見開きで、写真点数を多めにとり、その中に説明等の文字情報を織り交ぜながら問いかける工夫がある。</p> <p>○実験器具の操作方法について、丁寧かつ詳細にまとめられ、道具の使い方に確認のチェック欄がついている。</p> <p>○結果から考えたり、予想したりする場面では、その都度教科書内のキャラクターがヒントを与えている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○重要語句はフォントを変え、太字で強調する工夫がある。</p> <p>○導入や問題は語り掛けるように（口語）、実験内容や結果・まとめは事実として説明する（文語）工夫がある。</p> <p>○青色基調のレイアウトで統一されており、多色が使われすぎると気が散る児童に配慮されている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○コンパクトなサイズでタブレットと一緒に持ち運ぶには楽なサイズになっている。</p> <p>○問題とまとめがはっきりと青枠で囲まれていて、見て確認しやすくなっている。</p> <p>○第3学年の冒頭では、理科の学習の仕方や理科の見方など、キャラクターを配置して、理科に興味をもって取り組めるようになっている。また、偉人だけでなく、科学に関わっている人物のメッセージがあり、歴史と今がつながっていることが伝わる工夫がある。</p> | |

種目（理 科）

| | | |
|------------------|--|------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>未来をひらく 小学理科</p> | <p>17 教出</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○結論マーク（囲み）で身に付ける内容を明示・強調されている。直後に図示・解説を設け、より理解を深める工夫がある。実験手順を説明するページのエリアが広く、縦向きに順序立てられているため理解しやすい。また、『わかったことはなにか』のページで前学年・本学年で内容（用語等）が一覧に示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○キャラクター（児童）の発言（吹き出し）を通して、見方や考え方が展開され、キャラクター（教師）の発言によってそれが整理・価値付けされるような工夫がある。実験や単元の学習を計画するための助言内容が多く、多くの疑問について自分の考えをもち、表現できる構成となっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○振り返り部分で「学習前後の児童の様子（考え等）」を比較できるように示し、考えがどのように変化するか、成長の様子が可視化されている。また、少し難しめの疑問の提示がされており、多くの児童が課題意識をもって問題解決に取り組もうと思えるものになっている。コラム内で学習内容と身近な自然との関わりが感じられるようになっている。</p> <p><環境との関わりや安全性への配慮> ○各単元内の読み物とSDGsとの関連をマークで示すとともに、全学年、表紙の見開きでSDGsとの関連を明示している。安全面では、学年に応じた安全についての記事がまとめられている。巻末には、基本的な実験器具の詳細な操作説明や観察の仕方が記事とQRコードで掲載されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○単元の最初に学習のつながり（今までの学習とこれからの学習）が示されている。 ○目に見えない事象（水蒸気など）については、実写にこだわらず、イラストを活用することで理解しやすいように工夫している。 ○時系列に細かい写真をつなげることで、時間の経過による変化がわかりやすくなる工夫をしている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○単元のまとめの場面において、重要語句に黄色線が引かれてまとめられている。 ○低学年からまとめを「けつろん」として表記し、問題－結論の対応関係が理解しやすくなるよう工夫されている。 ○「けつろん」の表記を大きく表示し、どの場面がまとめの場面なのかがわかりやすいようになっている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○第3学年の冒頭に生活科と理科の違いや学び方について詳しく説明している。 ○学習内容を実験や観察を通じて理解できるように様々な実験方法を紹介して、いろいろな道具を使って確認できるようにしている。 ○学習の理解力の違いによらず、ほとんどの児童がそれぞれの課題意識をもって学習に取り組むことができる工夫がある。初めて理科の授業をする教師でも、安全に科学的な思考を巡らせる学習が進められる。</p> | |

種目（理科）

| | | |
|------------------|--|-------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>わくわく理科</p> | <p>61 啓林館</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○単元の最初に『思い出そう・はじめに考えよう』の場面が設定されていて、既習事項・日常生活と関連させている。また、単元末の『まとめノート』で要点の振り返りができる工夫がある。詳細な実験器具の使い方の説明が、実験を行うタイミングで掲載されており、巻末を探さなくてよい工夫がある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○科学的な知識を日常生活の中でどう活かすか考える場面が多い。知っただけで終わらず、活用方法まで考えるような流れになっている。特にキャラクター（教師）の発問（吹き出し）をきっかけに、キャラクター（児童）の気付き・話し合いが展開され、結論へと導く流れがある。観察や実験を行うときには、ICTの活用を進めたり、簡単な記録方法を示したりする工夫がある。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○日常生活のテーマが多いため、科学を身近な事象として捉え、興味関心をもって学習に取り組むことができる。学習の最後に防災面との関係や他教科等との繋がりをコラムで表示して、学びの広がりを児童が実感しやすくなっている。『くらしとリンク』や『発展』ではキーワードが示され、学習と結び付けやすい。</p> <p><環境との関わりや安全性への配慮> ○単元内の読み物資料において、SDGsとの関連を示したり、活動時の注意事項に『自然を大切に』マークを示したりして、環境との関わりが意識しやすい。安全面では、実験や観察の場面ごとにオレンジ色のマーク（注意）と赤字で表示されている。実験器具の詳細な説明が単元内に挿入されたり、実験道具の使い方がQRコードで示されたりして、画面と動画の両方で確認できる。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○話し合い活動では、実際の児童の写真にヒントのセリフが配置されていて、児童が発想しやすい工夫がある。</p> <p>○単元の導入に大判の写真が用意され、実際の様子の中から児童が科学的な事象に迫れるようになっている。</p> <p>○3年生植物探検シートは切り取り線があり、持ち運べる工夫がある。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○使用しているフォントの数が多く、軽重をつけて表記されているため、どこが大切なのか視覚的に理解しやすい。</p> <p>○単位については算数との関連を示し、教科等横断的な理解ができるよう工夫がある。</p> <p>○難しい用語には出てくる場面で説明が入り、その後もふりがながずっとついていて、学習の妨げにならないような配慮がある。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○サイズがコンパクトでタブレットと一緒に持ち運びがしやすい。</p> <p>○情報量が多いが、フォントの工夫があるため圧迫感を感じず、問題とまとめが同じ色で囲まれていることで、対応関係がわかりやすい。また、学習の基本ラインが、中学年は暖色、高学年は寒色でまとめられ、教科書の印象がやや異なる。</p> <p>○実験器具の説明が単元内にあるため、学習が止まらない工夫がある。</p> | |

種目（生活）

| | | |
|---------------------|--|---------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>新編 新しい 生活</p> | <p>2</p> <p>東 書</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○学習活動の中で安全や基本的な生活習慣、マナー等知識の習得が図れるよう、巻末の「かつどうべんりてちょう」や単元の中で「やくそく」の項目がQRコードと共に示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○五感を通して気付いたことを生かし、さらに活動を深め、比較やたとえ、さらに発展的に考えを深めるための多様な学習例が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品で示されている。</p> <p>○見開きページで活動が深められるような問いがあり、その思いや願いの実現のために、児童の思考・判断・表現が広がり・深まるよう挿絵や吹き出し、表現作品が提示されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○次の活動や生活に生かそうとする思いや実現にむけて、進んで取り組んだり人と協働してよりよいものを創りだしたりする姿が写真や吹き出し、表現作品等で挙げられている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <p>○観察や活動への意欲が引き出されるよう、大きな写真で児童が活動している様子が示されている。活動ごとに問いと活動例のイラストや写真があり気付きが深められるよう工夫されている。</p> <p>○学習カード、紙芝居、すごろく、パソコン等多様な表現方法が提示されている。観察の仕方やカードの書き方、調べ方の例示等表現方法の工夫について丁寧な例示がされている。</p> <p>○「学びを深める」というコーナーで表現や交流活動例があり、言語活動を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現させていく姿が例示されている。</p> <p><幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫></p> <p>○「がっこうせいかつすたあと」では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」がイラストやコメントで提示され、教師や保護者が目安とすることができる。</p> <p>○観察の視点や地図による表現、地域との関わりなど理科・社会・総合的な学習の時間等の新たな教科等に移行しやすいような活動が設定されている。また、他教科等との関連の提示でカリキュラムマネジメントのイメージがもてるよう工夫されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○子供が楽しそうに活動に取り組む様子や生き物の写真が大きく、またパノラマページ等見やすい提示となっている。</p> <p>○「かつどうべんりてちょう」で学習の仕方など学びの参考となる。</p> <p>○下巻では、書く、話す、パソコンの活用等、表現例が多く掲載されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○すべての児童へ適応するようUDフォントや配色に工夫や配慮が見られる。</p> <p>○課題や登場人物たちの会話は、考えを促したり活動のヒントとなったりするような表現になっている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○学んだことをまとめる表現例や振り返りが発達段階に応じ掲載されている。</p> <p>○具体物の活用やICTの活用、また、教師のかかわり例等様々な表現方法により、児童が主体的で協働的な学びが展開できるよう工夫されている。</p> | |

種目（生活）

| | | |
|---------------------|---|---------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>新版 たのしいせいかつ</p> | <p>4</p> <p>大日本</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○巻末の「がくしゅうどうぐばこ」のページでは、安全面や技能の習得がQRコードとともに例示されている。ルールやマナーの習得ができるよう「ちゅうい」や「やくそく」として単元内で示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○見開きページごとに児童自身に考えさせるための課題が示され、活動の流れと思考を促す吹き出しが示されている。</p> <p>○ワークシートのページや五感を生かした表現や「せいかつことば」、「がくしゅうどうぐばこ」の提示で豊かに表現できるような工夫がある。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○活動後の振り返りから、児童の思いや願いを基に次の活動へとつなげられるような紙面の工夫が見られ、その後の自分の生活に生かされるような例が多く示されている。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <p>○児童の活動写真やイラスト、自然等を大きく掲載し、見てみたい、やってみみたいと意欲をかき立てる工夫がされている。思考しながら教科書に直接書き込めたり、切り離して学習に生かしたりできるようなシートの工夫がされている。</p> <p>○観察カードや紙芝居、ポスター、動画等での表現方法が単元内や巻末「がくしゅうどうぐばこ」で例示され、表現活動の参考になる。</p> <p>○話し合い場面や人とのかかわりなど協働的な活動を通して、児童が気付きを共有し考えを深めていく姿が例示されている。児童のイラストや文章、教師の板書など、学び方や表現の仕方が写真や絵で掲載されている。</p> <p><幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫></p> <p>○「たのしいよ1ねんせい」では、幼児期に経験した様子とともに、文字を少なめにしてイラストや写真で学校生活をイメージできるようにしている。</p> <p>○観察や地図による表現、インタビューなど理科・社会・総合的な学習の時間等の新たな教科等に移行しやすいような活動が設定されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○大きな写真でイメージが広げやすく、また、QRコードでは、動画、図鑑、料理のしかたや友達の作り方などを見ることができる。</p> <p>○多様性やSDGsの視点をもたせるような資料が載っている。</p> <p>○本文中や巻末「がくしゅうどうぐばこ」では、季節の植物のイラストや、学習の仕方や学習を生かした活動、海外の文化について紹介されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○すべての児童へ適応するようUDフォントや配色に工夫や配慮が見られる。</p> <p>○単元のめあてが、単元の最初に大きく書いてあり、学習の振り返りでは、気持ちマークやカード等で表すことができるように工夫されている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○児童の発表の様子や観察カード観察、気付きのカード等の表現物が例示され、表現の参考となるように工夫されている。</p> <p>○児童同士での会話や「せいかつことば」の掲載により、語彙力の向上と表現力を育成するような工夫が見られる。</p> | |

種目（生活）

| | | |
|------------------|--|-------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ</p> | <p>11 学 図</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○单元内の「ものしりのうと」のページでは、栽培や工作等の技能や知識が習得できるようにしている。また、巻末「まなびかたずかん」では、場面例から身に付けさせたい技能が習得されるように工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○活動を通して友達と学び合い、思考し表現する過程や方法が、写真やイラストで例示されている。 ○单元末では、振り返りを充実させ、これまでの記録をもとに思考の整理や多様な表現方法を知り、今後の学習や生活に生かせるよう工夫されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学びへの意欲が高められるよう、イラストや写真で会話している様子が示されている。また「もっと〇〇したいな」では学びを生かして発展的な活動へ広がることができるよう工夫されている。 <具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○見出しのように活動の内容を示し、キャラクターたちが活動をしている様子から対話や多様な表現で学びを深めて行く学習過程が示されている。 ○発見カード・作文・ポスター等の活動例が多く、「学び方図かん」のページで気付きや書き方のヒントが例示されている。 ○写真やイラストから、対話的な活動を通して学びを深めている様子が示されている。そこで気付いたことをもとに次の活動につなげたり、生活科の最後に2年間の学びから成長した自分を振り返ったりできたりするような構成になっている。 <幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫> ○「はじまるよしょうがっこう」では、写真やイラストでイメージを広げながら安心して学校生活に入れるような構成となっている。 ○体を使った表現や、数を数える、ものづくり、地域とのかかわり、観察など、他教科とのかかわりがわかる活動例が示されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○「ものしりノート」で栽培や制作、「ものしりずかん」では施設や動植物の紹介がQRコードとともに掲載されている。 ○「まなびかたずかん」では、学習のスキル向上のため、項目ごとにまとめられている。 ○記録ノート等の例が具体的に出ているので、活動のヒントとなっている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○すべての児童へ適応するようUDフォントや配色に工夫や配慮が見られる。 ○見開きページ右下に、写真や児童の言葉が示されて次時への意欲が高められるような工夫がされている。「まなびかたずかん」や「ものしりノート」と連動するよう单元内にページが記載されている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○キャラクターたちの対話や活動による変容の姿が表現され、单元内の活動が分かりやすい。 ○見開きページが1つの活動として、児童が願いをもち、主体的、対話的に取り組み、振り返るというまとまりの構成となっている。</p> | |

種目（生活）

| | | |
|---------------------|---|---------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>せいかつ</p> | <p>17</p> <p>教出</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○巻末「学びのポケット」では、工作の技能やマナー、ルールが、「やくそく」の項目では、技能や安全の約束が習得できるような構成になっており、幅広い学習活動が例示されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○児童自身に考えさせるための課題が示され、思考を促す吹き出しや挿絵によって思考する視点が整理しやすいような構成になっている。</p> <p>○児童の「やってみよう」という思いが深まるよう、「ヒント」コーナーや思考ツールを用いた板書例が示されており、思考を整理したり組み立てたりする活動ができるような工夫がある。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○導入の「わくわくスイッチ」や単元を貫く「はっけんロード」、試行錯誤を促す「かんがえまとめいろ」、振り返りの「ぐんぐんはしご」で主体的な学びの展開となるような単元構成となっていて、学び方が習得できるような工夫がある。</p> <p><具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫></p> <p>○見開きのページ構成で、問いかけの言葉を設けることで活動意欲を高め気づきができるような構成にしている。</p> <p>○自身の気づきをよりよく伝えるため、学習カードやポスター、ICT等表現方法の例が単元内や巻末で多く掲載されている。</p> <p>○単元の最初にサイコロ「きづく」のページで自分の体験から気づきをスタートし、「かんがえる」ページで考えを整理するカード等や伝え合う活動の例が示され、活動を通して気付きの質を深めるような構成になっている。</p> <p><幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫></p> <p>○「はじめのいっぽ」では、友達とのかかわりや生活習慣、各教科への意欲から学校生活への関心へつなげられるような構成になっている。</p> <p>○「学びのポケット」や「はってん」コラムで各教科等や中学年以降の学習との関連を示している。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○独特のキャラクターの「はっけんロード」で単元の流れから振り返りまでできるような構成になっている。</p> <p>○QRコードによる動画やワークシート、デジタル図鑑等の資料が多く添付され児童の意欲を高める工夫がある。</p> <p>○「まなびのぼけっと」は、他教科等との関連を示しながら知識・技能を習得できるような丁寧な内容になっている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○すべての児童へ適応するようUDフォントや配色に工夫や配慮が見られる。</p> <p>○デジタルの発表画面や作品例、記録カードの例が大きく、具体例や児童の参考となるような丁寧な掲載である。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○気づく、考える、伝える、じしんをもつというサイコロの表記で、活動のねらいや単元の流れが分かりやすくなっている。</p> <p>○キャラクターの迷路で単元のながれや思考の手助けができるような工夫が見られる。</p> | |

種目（生活）

| | | |
|------------------|---|------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>せいかつ たんけんたい</p> | <p>38 光村</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○イラストレーターによる単元内での「こんなこともあるかもね」等のコーナーではルールや活動のポイントが、また、「気をつけよう」や取り外せる「広がるせいかつずかん」では、安全面や学習技能、習慣が身に付くように提示されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○見開きごとに課題が提示され、写真や吹き出しで考えを深めたり表現したりしやすいような例示である。また学習の振り返りの視点も提示されている。 ○児童が思考して制作に取り組めるよう具体の制作例を出しすぎず、試行錯誤の視点となる写真や吹き出し等のヒントや基本の技能を提示し、思考・表現していく一助となるよう工夫されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○活動の意欲付けが図られるよう写真、吹き出しや「こんなのもいいかもよ」等イラストのつぶやきが例示され、様々な価値観をもつ児童が協働で学びが進められるような工夫がされている。 <具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○教員や地域の大人とのかかわりを通して、気付きや自信をもたせられるような声かけがある。イラストレーターのコーナーでは、活動を通して気付きを促す例が出ているので児童や教員も学習を進める上でのヒントとなる。 ○観察カードや、ポスター、パンフレット、巻物等様々な表現方法を例示し、また、記録の仕方などが巻末資料に出ているので、気付きの質を高めることができる工夫がされている。 ○導入・展開・振り返りや発展という構成で、それぞれの場面で思考・判断・表現する場面の例示により気付きの質を高められるように工夫されている。 <幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫> ○「いちねんせいがはじまるよ」では、絵本のように想像力を膨らませながら関心をもたせ、写真で今後の活動がイメージできるようにしている。 ○記録やインタビュー、まとめ方については、社会科や理科、総合的な学習の時間の教科につながる例が単元内や下巻末、巻末に出ている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○裏表紙のQRコードでSDGsや多様性の側面を有する資料がある。 ○「ひろがるせいかつじてん」で切り離して使用可能で、単元に関する資料がまとめられている。 ○工作関係は、作品そのものの作り方ではなく、「とぶ、ころがる」等の技能が提示され、思考・表現の助けとなるように工夫されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○すべての児童へ適応するようUDフォントや配色に工夫や配慮が見られる。 ○教科書の使い方が巻頭についているので指導者も参考になる。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○絵本のようなテイストが親しみやすく、児童がイラストの人物と一緒に考えながら学習が進められるよう工夫されている。 ○学習活動ごとに視点が設けられた振り返りのコーナーがあり、次時への活動の意欲付けとなる。また、「保護者の皆様へ」というメッセージがあり、単元のねらい等を示し、家庭での協力や触れ合いに活用できるようにしている。</p> | |

種目（生活）

| | | |
|------------------|--|-------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>せいかつ</p> | <p>61 啓林館</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「びっくりずかん」や「がくしゅうずかん」「まなびのほん」とともに動植物に関する内容や安全面等、生活に関する知識・技能が身に付くよう工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○児童の写真、イラスト、会話や、教師の声掛けにより、思考し表現する活動を促す内容になっている。 ○見つける、比べる、試す、工夫するなどの過程で、思考が促されるような様々な学習活動が提示されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「できるかな できたかな」のコーナーで学びの深まりを実感したり、「ひろがるきもち」で相手意識をもって伝えようとする意欲を高めさせたりして、次時の活動や今後の生活への意欲につながるよう工夫している。 <具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるための工夫> ○単元のはじめのページで写真や問いをもつことで学習意欲が高まるように工夫している。ページ右下で次時への意欲を高める言葉を入れ、活動により気付きの質が高まるような構成にしている。 ○観察カード、ICTでのまとめ、動作化等、多様な表現方法が例示されている。 ○単元の最後は、学んだことを発表したり友達から学んだりする時間を提示し、さらに気付きが広がるようにしている。巻末では、記録の方法や協働学習での工夫等が提示されている。 <幼児期の教育や中学年以降の学習と関連付ける工夫> ○「すたあとぶっく」はページがめくりやすい小版になっていて、写真やイラストで小学校生活のイメージや知識の習得ができるようになっている。 ○観察や地図等の理科や社会科へつながる活動や気付いたことをもとに協働的な学びをする総合的な学習の時間へつながる活動が例示されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○「がくしゅうずかん」のページについては、まとめや発表のためのポイントが詳しく掲載されている。 ○「3年生へのステップブック」で、生活科で学んだことが次学年への教科へつながることを示している。 ○タブレット活用例や使用方法、QRコードによる資料などICTを活用する事例が豊富に示されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○すべての児童へ適応するようUDフォントや配色に工夫や配慮が見られる。 ○五感や「つむ」「ころがす」などの言葉の表記により、児童の思考や表現を広げる活動へ促すとともに、見開きページ右下に、次時への意欲が高められるような言葉が示されている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階構成で単元の見通しをもちやすく、計画が立てやすくなっている。 ○単元のはじめに意欲を高める大きな写真があり、また、「わくわくタイム」で「なぜ」「ふしぎ」等の意欲を高めるような工夫が見られる。</p> | |

種目（音楽）

| | | |
|---------------------|---|---------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>小学音楽 音楽のおくりもの</p> | <p>17</p> <p>教出</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○題材については、学習指導要領に示されている各学年の目標及び内容を踏まえて、系統的・発展的に組織化されており、児童の発達の段階に応じて「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習を積み重ねられるように設定されている。教材については、音域や長さ、歌詞の内容が発達の段階に即したものとなっており、少しずつ音楽的な視野を広げられるように、表現と鑑賞の学習のつながりに配慮され配置されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○児童が音楽表現を工夫するための手立てとして、作品や活動の例示、写真やイラストで表現の仕方のヒントが適切に配置され、思いや意図を生かした表現に取り組みやすいものとなっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○巻頭に1年間の学習の見通しをもつことのできる「学習マップ」や、第3学年以上では「学習の進め方」コーナーが設けられ、児童の主体的な学習を引き出せるような工夫がされている。また、各見開きに「まなびナビ」が掲載されており、中高学年では「学び合う音楽」で学び方を例示し、児童が音楽活動に協働して取り組めるように工夫されている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○「音のスケッチ」で身近な言葉や音を使った音楽づくりを取り入れたり、持続可能な社会のために音楽を通じて何ができるかを考えるコラムを設けたりして、児童が興味・関心をもち、自分の生活や人生、社会に生かせるような工夫がされている。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○どの学年にも「学びリンク」のQRコードが適材適所に配置され、端末でいつでもデジタル資料を見ることができ、発想を広げるヒントとなり、児童が主体的に学習に取り組みやすくなっている。</p> <p>○表現及び鑑賞活動では、曲調や歌詞の内容をイメージしやすいよう、折込を使ったワイドな紙面で、歌詞に忠実でダイナミックな写真が使われており、児童が自ら学習へ向うように工夫されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○鑑賞教材において、旋律の動きを絵譜の図形や色の違いで特徴を表しており、オーケストラの実際のスコアを用いる等、縦と横との関係を色分けして示している。</p> <p>○「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として示し、教材や活動に関連するものを見開きごとに明記して、児童がその働きを意識しながら学ぶことができるように配慮されている。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○児童同士で音楽活動に協働して取り組めるような手立てが詳細に示されており、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫されている。また、児童の意欲・関心が高まるような楽曲や、他教科等と関連する楽曲、SDGsマークの掲載を採用しており、児童の音楽活動の幅を広げやすいものとなっている。写真はダイナミックで美しいものが多く使われており、視覚的に理解しやすいものとなっている。</p> | |

種目（音楽）

| | | |
|---------------------|--|----------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>小学生の音楽</p> | <p>27</p> <p>教 芸</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○題材については、学習指導要領に示されている各学年の目標及び内容を踏まえて、系統的・発展的に組織されており、児童の発達の段階に応じて「音楽的な見方・考え方」を働かせながら学習を積み重ねられるように設定されている。教材については、発達の段階に応じて、スモールステップで学べるように、表現と鑑賞で関連付けたり、対照・対比したりして、「何を学んだのか」「何ができるようになったのか」を確認できるように配置されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○児童が音楽表現を工夫するための手立てとして、作品やワークシートの例示、イラストの吹き出しのヒントが適切に配置され、学習目標と学習活動を関連させて学びやすいものとなっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○巻頭に1年間の学習の見通しをもつことのできる「学習マップ」や、巻末に1年間の学習を振り返る「ふり返りのページ」が設けられ、児童が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。また、同じ曲が形態を変えて取り上げられ、各題材の最初に題材のねらい、最後に学習の振り返りが示されており、児童が学びを深め、楽しく協働的に学ぶことができるように工夫されている。</p> <p><生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○身の回りで見つけた音を音楽に取り入れたり、音や音楽に関わるコラムなどを設けたりして、児童が興味・関心をもてるように工夫され、学習したことを自分の生活や人生、社会に生かせるような工夫がされている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○どの学年も教科書の紙面右上にQRコードがあり、端末でいつでもデジタル資料を見ることができ、発想を広げるヒントとなり、児童が主体的に学習に取り組みやすくなっている。</p> <p>○表現及び鑑賞活動では、曲調や歌詞の内容をイメージしやすいように内容に合わせたイラストや写真を大きく使われており、児童が主体的に学習に取り組みやすい資料が配置されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○楽譜の提示では、白を基調としていて、見やすいものとなっている。また、拍をとりやすいように拍を表示したり、絵譜を用いて旋律の特徴を図形の形や色で違いを表したり、特徴が捉えやすく表記されている。</p> <p>○音符、休符、記号、音楽に関わる用語を「がくふマスター」と称して色分けして提示されており、児童が気付きやすいものとなっている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○学習すべき内容や考えることが明確に記載されており、児童が何を学ぶのか、見通しをもって学習しやすい構成となっている。また、学年が上がるとともに既習を生かして学習を積み重ね、児童同士が思いや意図をもって協働して音楽をつくり上げる活動を促進するものとなっている。映像資料や各ページ右上記載のQRコードからの情報を活用し、児童が多様な視点から興味・関心を高められる工夫がされている。</p> | |

種目（ 図画工作 ）

| 項目 | 書名 図画工作 | 9 開隆堂 |
|-------|---|----------|
| 内 容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○新しい材料、用具、技法を選んで、何度も試したり、工夫したりすることができるような題材が工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○題材ページでは、製作過程の写真や児童のコメントを多く掲載しており、例を参考にしながら自分で考えていく学びを進めることができるように工夫されている。 ○自分の見方や感じ方が深められるように、作者の思いの掲載や、QRコードから視聴できる「ぐるっと」で様々な方向からの鑑賞ができるように工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○様々な表現方法が取り入れられ、身近な人々や社会と関わる場면을例示することで、社会生活とアートとの関わりを感じさせる工夫がされている。</p> <p><表現及び鑑賞が相互に関連する学習活動を充実するための工夫> ○表現と鑑賞のサイクルが生み出しやすい題材設定となっている。また、QRコードから視聴できる「はじめに」では題材の魅力を伝える動画が視聴でき、児童が反転学習で活用できるようになっている。 ○「小さな美術館」では、身近な作家作品を鑑賞することで関連する表現の題材と一体的に扱いながら見方や考え方が広げられるようになっている。</p> <p><用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫> ○「用具や材料を知ろう」や題材の中で、写真やイラストを使い、用具の使い方が説明されている。また、QRコード視聴できる動画でも使い方が理解できるように工夫されている。</p> | |
| 資 料 | <p>○各題材の左下にあるQRコードでは、ワークシートや動画などが数多く用意され、授業の資料や児童の反転学習に活用できるように工夫されている。</p> <p>○各学年で「つながる造形」や「みんなのギャラリー」が設けられ、身近な地域との関連を意識できるような学びを取り上げている。</p> <p>○SDGsの取組や作品が紹介され、社会や環境に配慮した内容になっている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○題材で育てたい資質・能力を明確にした「学習のめあて」が設けられ、児童にわかりやすく明示されている。また、児童が親しみやすいキャラクターが学習のポイントを投げかけ、学習が深められるように工夫されている。</p> | |
| 総 括 | <p>○他教科等や学校行事に関連付けながら題材が配列されており、学んだことが社会とつながっていることを実感できるように工夫されている。</p> <p>○児童がQRコードを活用することで、反転学習や授業での確認などに活かせる構成になっており、自らの学びが発展できるようになっている。</p> | |

種目（ 図画工作 ）

| 項目 | 書名 図画工作 | 116 日 文 |
|-------|---|------------|
| 内 容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○材料や素材の扱い方が示されており、自分の感覚を通して題材に取り組みたくなるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○児童の活動や製作過程がわかる情景写真を数多く掲載し、児童の発想や構想を促すための工夫がされている。 ○自分の見方や感じ方を深められるように、多様な角度から形や色の特徴を捉えられる資料や、題材ページの掲載が工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○材料や場、活動方法が幅広く題材に取り入れられており、そのヒントとなる写真等が掲載され、社会生活とアートとのつながりを感じさせるように工夫されている。</p> <p><表現及び鑑賞が相互に関連する学習活動を充実するための工夫> ○タブレット端末で使えるアプリの掲載や、ブラウザで動かせるアートカード、ミニアートカードを掲載し、活用することで対話を通じた鑑賞を深め、表現につながるような教材が工夫されている。 ○「教科書美術館」では、関連する題材ページを連続して配置しており、鑑賞と表現の一体化を図りながら、学びを深めることが工夫されている。</p> <p><用具の安全な取り扱いについて指導するための工夫> ○巻末「材料と用具のひきだし」では、さらに用具の使い方等をイラストや端的な説明で詳しく紹介している。また、QRコードから視聴できる動画でも使い方が理解できるように工夫されている。</p> | |
| 資 料 | <p>○アプリやコンテンツ、動画などが用意され、ICTの活動例を示しながら題材の中で紹介されている。</p> <p>○作品コメントや吹き出しの言葉など、実際の授業の中ででた児童の言葉から引用されており、児童がイメージしやすいように工夫されている。</p> <p>○「かたづけ」では、環境や社会生活に配慮した内容になっている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○「学習のめあて」は、3観点を5項目に細分化し、育てたい力が明確に示されている。また、コントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルデザインに配慮し編集されている。題材名の表記は、児童が楽しめるよう工夫されている。</p> | |
| 総 括 | <p>○豊富な児童の作品や全国の造形活動、美術館の取り組み、伝統工芸など、例に多く触れることで、造形的な活動が広がるよう工夫されている。</p> <p>○地域や伝統文化とのつながりを感じさせる場面が紹介され、楽しくて豊かな生活をつくりだしていこうとする心を育成できるような工夫がされている。</p> | |

種目（ 家 庭 ）

| | | |
|--------------|---|------------------|
| <p>項目</p> | <p>書名 新編 新しい家庭</p> | <p>2 東 書</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各題材に、「めあて」に対して「ふり返ろう」があり、学習の振り返りがしやすく、実習後の「できたかな」のコーナーで自己評価を行うことができる。 ○題材に、QRコードが用意されている。知識・技能を習得するため、その基礎・基本をおさえる動画コンテンツを効果的に活用することができる。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○題材が「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで構成され、問題解決型の学習展開となっている。 ○「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」という具体的な活動内容が、上記3ステップに示され、その過程で「主体的・対話的で深い学び」につながる工夫がされている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「生活を変えるチャンス!」「夏休みわくわくチャレンジ!」では、学習した知識・技能等を生かして、よりよい生活を家庭や地域、SDGsへと導く内容となっている。 <実践的・体験的な活動を伴った学習活動の工夫> ○生活の中で目にしている場面を具体的な写真や吹き出しで示すことで、児童が実践しやすく、生活に生かす活動につながる流れになっている。 ○子供たちの活動意欲を引き出す実践例が多く掲載されている。 <安全・衛生の管理への配慮> ○巻頭の「いつも確かめよう」で衛生・安全についてまとめて示されているので、確認しやすく、各題材で安全に関する内容は、マークで分かりやすく記載されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○実習を行う上で、写真が見やすく多く掲載され、児童のやる気を引き出す工夫がされている。 ○QRコードによる動画は、初めて体験する児童にとって効果的な資料である。また、ワークシートも活用ができ、授業効率を上げるものである。 ○日本の伝統・英語の表記・言葉の説明・振り返りのチェックが掲載されていて、児童の興味・関心を引き、主体的な学びにつながる工夫がされている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○学習内容が丁寧に詳しく記述されている。調理や裁縫の実習については、手順の説明も詳しく記述されている。 ○「家族・家庭生活」「衣」「食」「住」「消費生活・環境」の5項目で色分けされ、インデックスのように、学習するページを探しやすい工夫がされている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○各題材が3ステップで構成されており、問題解決型学習を実現しやすく、また、その学習過程において「主体的・対話的で深い学び」につながる工夫がされている。 ○ICTの活用・実践例の写真や資料等が、児童が主体的に学習を進められるように、豊富に掲載されている。安全・衛生を促す記載やSDGs、ユニバーサルデザインにも配慮されている。</p> | |

種目（家庭）

| | | |
|------------------|--|------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>わたしたちの家庭科</p> | <p>9 開隆堂</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○基本的なものから発展的なものへと、2年間を見通して構成されている。スモールステップで児童が無理なく知識・技能を身に付けていく工夫がされている。 ○実習の手順や基礎・基本となる技能は、写真やイラストによる例示、動画コンテンツで何度も確認することができ、「できたかな」で自己評価することができる。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○1「気づく・見つける」2「わかる・できる」3「生かす・深める」という3つの学習過程を設定し、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。 ○各題材に対応した「学習のめあて」で学習の見通しをもち、上記1の過程の最初に、「なぜ○○なのだろう」と問いかけることで、児童自身に問題解決意識をもたせている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○題材の導入で、「マイめあて」という自分の課題をもつ場面があり、学習が家庭での実践へと主体的な学びにつながる。 <実践的・体験的な活動を伴った学習活動の工夫> ○「生活の課題と実せん例」では、発展的な活動例が多く示され、「生活の課題と実践」が5つのステップで示され、取り組みやすくなっている。 ○製作実習や調理実習の例に難易度を★マークで表示し、児童が自身の技能に応じた実習計画を立てることができる工夫がされている。 <安全・衛生の管理への配慮> ○実習の際の安全・衛生面の注意が、マークと共にわかりやすいものになっている。巻末に安全・衛生・防災の資料が、まとめて掲載されていて活用しやすい。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○実習の流れが見開きの展開となっていて、イラストや写真も見やすく、活動をイメージしやすい。 ○実習での活動を確認できる動画や児童の考えの変容等が記録できる学習カード等が多数用意されている。 ○SDGsにつながる資料や伝統を伝える資料、参考資料等、児童の学習に広がりをもたせる内容が効果的に掲載されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○説明文が、児童が読み進めるのに適した量となっていて、大切な言葉は太字となっている。本文では、1単語が行をまたがないので、理解しやすい。 ○学習内容をイメージしやすいようにイラストやキャラクターを効果的に活用している。色合いがよく、目に優しい。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○基本的なものから発展的なものへと、2年間を見通して構成され、スモールステップで無理なく知識・技能を身に付けていく工夫がされている。全題材で3つの学習過程を設定し、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。 ○学習に必要な写真・イラスト・動画コンテンツが精選されている。安全に取り組める工夫やSDGs、消費者教育等の内容も適切に組み込まれている。</p> | |

種目（ 保 健 ）

| | | |
|--------------|---|------------------|
| <p>項目</p> | <p>書名 新編 新しい保健</p> | <p>2 東 書</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された学習内容を簡潔にまとめ、大切な部分をゴシック体にするなど、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○各項の内容が4ステップで構成されており、ステップ4では（ ）を埋める穴埋めの形で、学習のまとめができるようになっていて、基礎的・基本的な知識が習得できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○情報を集めたり、調べたり、話し合ったりする活動や、それまで学習したことを基に考え、筋道を立てて説明する活動が設けられており、課題解決ができる構成で思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がされている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○ステップ4では、学習したことを実生活に生かせるような活動を設け、「学習を振り返ろう」ではもっと知りたい、調べたいと思ったことを書く欄があり、次の学習に意欲的に取り組めるよう工夫している。</p> <p><健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○ステップ3「深める・伝える」で、習得した知識を基にさらに考えたり、意見やその理由を相互に表現し合ったりすることで、「分かった」からさらに深い学びにつながるよう工夫している。</p> <p><生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○命や健康を守るために児童に身に付けてほしいスキルを扱う箇所には「スキルマーク」がついていて、健康について考える工夫がされている。 ○中学校の学習内容を「はってん」として資料を掲載し、系統的に指導できる工夫がされている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○導入では、大きな写真や図が掲載されており、児童の興味・関心を引くことができる。その他のページも図や写真がたくさん掲載されている。 ○動画、アニメーション、シミュレーション、ワークシートなど紙面を補完するQRコンテンツを充実させている。 ○情報化・ICTや感染症など、各項末を中心に多くの今日的な健康課題が取り上げられ、またオリンピック・パラリンピックアスリートの言葉が取り上げられる等の工夫がされている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○1単位時間の学習内容が、導入1ページ、学習内容見開き2ページ、まとめ1ページの合計4ページでまとめられている。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮し、UDフォントが使われている。 ○文節の切れ目で改行しているので、読解しやすい。 ○個性豊かな多くのキャラクターの吹き出しを参考に学習を進めることができるようになっている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○各項4ページを基本として「4ステップ」で流れが統一されているので、見通しをもって学習に臨めるようになっている。 ○気付きや考えを記入するノート欄が豊富にあり、教科書に学習の記録が残せるようになっている。 ○「SDGs 私たちがつくる未来」が設けられ、各章のとびらには、学習内容に関連するSDGsの目標が記載されている。</p> | |

種目（ 保 健 ）

| | | |
|--------------|---|------------------|
| <p>項目</p> | <p>書名 新版 たのしい保健</p> | <p>4 大日本</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された学習内容が明確化され、身に付けるべき知識が本文に示されて基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○ウェブコンテンツに小單元ごとの穴埋め問題があるほか、単元の終わりには学習の振り返りを文章化できるようになっており、基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○折り込みの「活動を行うためのヒント」を使って確認しながら学習を進めたり、「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動を通して課題解決を行ったりすることで、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「つかもう」では折り込みカードを使うことで、資料を見ずに「つかむ」過程を進めることができ、課題を自分事として捉えさせ、意欲的に学習に取り組めるように工夫している。 <健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○「活かそう」では今後に活かしたいことを自分の言葉で書かせたり、身近にできる内容を「いえで」「ちいきで」マークで示し、学習したことを家庭や地域で活かしたりして、実践的に理解を深めるための工夫がされている。 <生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○巻頭で有名アスリート等の「夢と健康」についての紹介を行い、インタビュー形式で掲載し、運動と健康について考える工夫がされている。 ○中学校の学習とのつながりがマークで、巻末ページには次学年・中学校に向けての展望が示されており、保健学習が系統的に進められるよう工夫されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○専門家キャラクターによる解説や、「ミニ知識」、「もっと知りたい」を入れることで、児童の理解を広げたり、深めたりできるようにしている。 ○動画、アニメーション、シミュレーション、ワークシートなど紙面を補完するQRコンテンツを充実させている。 ○感染症や安全・防災教育などの現代的な諸課題について多角的に学ぶことができるように、わかりやすい写真やイラストで示され、また、有名アスリートの言葉が取り上げられる等の工夫がされている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○1時間1見開きを基本とし統一されたレイアウトになっている。さらにページの左側にガイドが示されていて学習の流れがわかりやすく示されている。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮し、UDフォントが使われている。 ○単語の途中で改行せずに読みやすい位置で改行しているので、読解しやすい。 ○キャラクターの吹き出しで課題を確認したり、解説やミニアドバイスを手掛かりに学習を進められたりすることができるように工夫している。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○1時間で見開きのページに、見つける→考える、やってみる→まとめる→広げる、深める、という流れでまとめられており、見通しをもって学習できる。 ○活動が豊富に示されていて、各過程で行う活動が明確になっているので、児童も教師も迷わず取り組むことができる。 ○SDGsについて、児童の興味・関心が高められるよう保健との関連を分かりやすく示し、関連する項目にマークを付けて、関心が高められるようにしている。</p> | |

種目（保健）

| | | |
|------------------|---|-------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>新 小学校保健</p> | <p>50 大修館</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された学習内容が明確かつ簡潔に記述され、重要語句は太字にするなど、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○「課題をつかむ」→「課題解決のための活動」→「まとめ」のシンプルな3ステップで構成され、毎時間の最後にウェブクイズ「ほけんクイズにトライ！」があり、その時間に学んだ知識を確実に習得できるように工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「学習をふり返ってみよう」では、知識の定着を図りつつ、学習したことを現在や将来の生活に生かすことができるように、記入スペースを設け自分の考えを表現できるように工夫している。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「まとめ 生かそう・伝えよう」では、自分の生活を見直す等して自己の課題について主体的に考えられるように、また章の最後の「学習をふり返ってみよう」では学んだことを現在や将来の生活に生かすことができるように工夫されている。 <健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○「学習をふり返ってみよう」では、各項や章のまとめで自分の生活と関連付けたり、将来の生活に生かしたりすることができるようにしており、実践的に理解を深めるための工夫がされている。 <生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○「体育の窓」を中心に運動領域の学習内容を積極的に取り上げ、運動と健康との関連について具体的な学習ができるようになっている。 ○中学校で学習する内容を「資料」、「はってん」に掲載し、系統的に学習を進められるようになっている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○巻頭のページでは、大きなイラストや写真、キャラクターの吹き出しを多用し、保健の学習への興味・関心を高める工夫をしている。 ○動画、アニメーション、シミュレーションなど紙面を補完するQRコンテンツを充実させている。（総数62点） ○スマホ・ゲーム依存や新型コロナウイルス感染症など、児童の健康・安全をめぐる今日的課題の対応もされており、また各章の導入となる扉のページでは、健康や安全について、著名人とキャラクターとの対話形式で取り上げられている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○学びやすく、教えやすい3ステップの学習の流れで構成されており、各小単元がほぼ見開き2ページを基本にまとめられている。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮し、UDフォントが使われている。 ○単語の途中で改行せずに読みやすい位置で改行しているので、読解しやすい。 ○共生社会についての理解が深められるように、多様性の尊重、個人差への配慮、いじめ問題、心のバリアフリーに配慮した記述がされている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○学びやすく、教えやすい3ステップの学習の流れで構成されていて、各小単元が見開き2ページを基本としており、見通しをもって学習できるようにしている。 ○小單元ごとに資料のページが挟まれていて、「はってん」の資料が33点と豊富に掲載されている。 ○「学習をふり返ってみよう」では、知識の定着を図りつつ、学習したことを現在や将来の生活に生かすことができるように工夫している。</p> | |

種目（保健）

| | | |
|------------------|---|--------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>新わたしたちの保健</p> | <p>207 文教社</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された学習内容を本文にまとめ、特に重要な点は太字にするなど、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。 ○主体的・対話的で深い学びができるように「課題をつかむ」→「課題解決のための活動」→「まとめ」→「活用」で構成しており、基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫されている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○イラストを活用して考えることや、話し合って自分の考えを説明する欄を設け、考えが思いつかない児童のためにキャラクターからヒントが出され、課題解決学習ができる構成で、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がされている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「学習のめあて」と「本日のMenu」を記載し、この時間で何を学習するのか、何を身に付けつけたらよいかのかが明確になっており、目標と見通しをもち、児童が意欲的に取り組めるように工夫されている。 <健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○各章末に「わたしの〇〇宣言」のページがあり、今後自分が「何を大切にしたいか」やその理由を記入し、これからの自分の健康課題を考え、実践的に理解を深めるための工夫がされている。 <生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○「わたしのけんこう宣言」「わたしのすくすく宣言」で、運動と関連付けた目標を書く欄を設ける工夫をしている。 ○巻末に「中学生になるみなさんへ」で、警察官からのメッセージとして守ってほしいことや大切にしてほしいことが掲載され、中学校生活につなげている。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○導入では、写真やイラストが豊富で、特にキャラクターの吹き出しが効果的に使われており、児童が自分で考えるきっかけをもつことができるようにしている。 ○動画やウェブサイトへのリンクなど紙面を補完するウェブコンテンツを二次元コードで示している。 ○熱中症や防災、新型コロナウイルス感染症対策などたくさんの新しい健康課題を取り上げており、また身近な人のエピソードが掲載されており、生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成することができるように工夫されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○どの項も、Mission-Stage 1・2-Mission（まとめ）の流れになっていて、1単位時間の学習内容が、2ページか4ページでまとめられている。 ○カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮されている。 ○書体や文字の大きさに配慮し、図やイラストがとても見やすくなっている。 ○たくさんのキャラクターの吹き出しが学習の手助けとなっており、学習内容を理解しやすくする工夫がされている。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○単元の始めに写真や説明を配置してイメージをつかませ、目標や見通し、学習に当たっての問いかけにより、スムーズに学習が開始できるようにしている。 ○各章末に「わたしの〇〇宣言」のページがあり、これからの自分の健康課題を考え、実践につなげられるよう工夫されている。 ○「もっと考えよう課」では、発展的な学習内容として、学習したことをもとに、もっと深く考える内容が紹介されている。</p> | |

種目（ 保 健 ）

| 項目 | 書名 小学保健 | 208 光文 |
|-------|---|-----------|
| 内 容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習指導要領に示された内容がまとめられ、特に大事な部分は文頭に★マークを付けたり太字にしたりして基礎的基本的な事項が習得できるようになっている。 ○「生活を振り返る」→「課題をつかむ」→「課題解決のための活動」→「まとめ」→「活用」の5段階構成であり、また「やってみよう」の活動では実習を行い、基礎的基本的な事項が習得できるようになっている。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「見つけよう」で自分の生活を振り返って健康課題を発見し、課題解決に向けて他者と話し合っって考える活動や自分の考えを他者に伝えたり説明したりする活動を設定することで、思考力、判断力、表現力等が育成できるよう工夫している。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「学びの意欲を高めるストーリー」として、児童が読みやすく共感でき、好奇心や探求心を刺激する内容を漫画形式で表現していて、児童が学習内容のイメージをもって意欲的に学習できるよう工夫している。 <健康・安全についての理解を深めるための工夫> ○毎時間のまとめに「学んだことを生かそう」があり、知識を活用し、実生活に役立つ実践力を身に付け、自分の健康課題を解決していく楽しさを味わい、実践的に理解を深められるように工夫している。 <生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫> ○運動と健康の関連を重視し、各学年で「体づくり運動」などの資料を取り扱っており、運動と健康について考えられるように工夫されている。 ○「はってん」に中学校での学習内容が示されていて、系統的な学習ができるように工夫している。</p> | |
| 資 料 | <p>○グラフや写真、イラストが豊富で、キャラクターによる漫画形式のページを掲載し、児童の興味を引くことができるよう工夫されている。 ○動画、アニメーション、シミュレーション、ワークシートなど紙面を補完するQRコンテンツを充実させている。小単元に1つ以上QRコンテンツがある。 ○「インターネットと犯罪被害」や「新しい感染症」等の今日的な健康課題が取り上げられている。また、アスリートやクリエイターのメッセージを掲載し、将来への「自己実現」につなげられるよう工夫されている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○ストーリー形式でまとめられた「とびらのページ」を各単元の導入で掲載し、1単位時間を原則見開き2ページでまとめている。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮し、UDフォントが使われている。 ○文字や資料が混同しないように、間に余白を設けたり、線を引いたりしている。 ○「この人に聞く」や「まめちしき」など、いろいろなマークで学習を深められるように工夫している。</p> | |
| 総 括 | <p>○見つける—知る—生かすの3要素で、学びを自分の生活に落とし込んで生かすことができるよう、学習の流れを工夫している。 ○巻末にSDGs特集ページを掲載し、世界で起きていることを知り自分にできることを考えられるようにしている。 ○児童の理解を助ける科学的な資料や専門家の解説などをまとめた「科学のとびら」や「この人に聞く」などの特徴的なコーナーが設定されている。</p> | |

種目（ 保 健 ）

| | | |
|---------------------|---|-----------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>新・みんなの保健</p> | <p>224</p> <p>学 研</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○確実に習得してほしい内容については、本文で丁寧に記述されていて、健康・安全についての基礎的・基本的な内容をしっかり習得できるように工夫している。</p> <p>○「課題をつかむ」→「自ら取り組む活動」→「対話的な活動」→「活用」、章末の「学習を振り返る」で構成され、また自己チェックで学習内容を整理できるようしており、基礎的・基本的な内容が習得できるように工夫されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「自分で考える」「友達やみんなと考える」「身に付いたことを生かす」という学習の流れを繰り返し、考えたこと等を記入するスペースを多く確保することで、思考力、判断力、表現力等が育成できるように工夫している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○どの時間もA学習の進め方の確認、B課題をつかむ、C課題の確認、D学習課題①（課題解決）、E学習課題②（話し合い・説明）、F学びを生かした振り返りという学習の流れになっており、児童が主体的に学習できるように工夫されている。</p> <p><健康・安全についての理解を深めるための工夫></p> <p>○学習したことを家庭や地域で確かめたり、調べたりする「おうちで」や「ちいきで」を設け、家庭や地域と連携した取組が実施できるようにし、実践的に理解を深めるための工夫がされている。</p> <p><生涯にわたって健康を保持増進する資質・能力を育成するための工夫></p> <p>○健康との関わりから必要な内容については、「つなぐ 体育とつなげる」を設け、運動領域との関連を図れるように工夫している。</p> <p>○他学年（中学校を含む）保健学習との関連がマークで示されていて、系統的に学習できるようになっている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○導入では、学習の進め方の確認、導入課題、学習課題が示されており、児童が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。</p> <p>○動画、アニメーション、シミュレーション、ワークシートなど紙面を補完するQRコンテンツを充実させている。小単元に1つ以上QRコンテンツがある。</p> <p>○多様性やICT活用と健康・安全、がん教育など現代的な課題を豊富に取り入れている。また、見えないものを見える化した「かがくの目」や、学びを広げたり深めたりするための資料「ほけんのはこ」で保健学習を身近なものにしている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○1単位時間見開き4ページを基本構成とし、3つのピースを完成させる構成でまとめられている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、UDフォントが使われている。</p> <p>○学習課題と本文を明確に区別し、考え等を記入する欄を十分に確保している。</p> <p>○写真やイラストが豊富で、生徒や担任の先生、保健の先生の吹き出しで課題を確認したり考えを深めたりすることができるようにしている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○1単位時間4ページを基本構成とし、3つのピースを完成させる構成でまとめられており、児童が見通しをもって学習できるようにしている。</p> <p>○積極的な健康観、ヘルスプロモーションを重視し、自分や周りの人を大切に思い、進んで健康になろうとする力が身に付けられるよう工夫している。</p> <p>○食育の観点を踏まえ、食の重要性を学習できるようにし、また保健学習全体を通して道徳との関連を図ることができるようにしている。</p> | |

種目（英語）

| | | |
|---------------------|---|---------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>NEW HORIZON Elementary English Course</p> | <p>2</p> <p>東 書</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○UnitごとにSounds and Lettersが配置されており、英語の音やアルファベットに慣れ親しむ学習が設けられている。</p> <p>○デジタル教材では、指定した単語の音を聞くことができるとともに、マイ単語をリスト化して必要な単語を繰り返し練習することができる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○Enjoy Communicationでは、単元の目標となる活動に向け、既習の表現を確認し、スモールステップで会話の内容を広げる工夫がある。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○Over the Horizonでは、海外の友達との交流の様子や自然な会話の様子から実際に英語を活用する場面をイメージしながら取り組むことができる。</p> <p><コミュニケーションを促す工夫></p> <p>○教科書、My Picture Dictionaryとともに、Small Talkの会話例や相槌の仕方、会話の広げ方などの例があり、会話に慣れ親しむための工夫がある。</p> <p><小学校外国語活動や中学校との円滑な接続></p> <p>○小学校第3学年から学習の始まる自己紹介や誕生日、好きなことなどをスパイラルに学ぶことのできる単元構成となっている。また、中学校で学習する文法事項に触れる項目があり、見通しをもたせる工夫がある。</p> <p><学びの見通しと振り返り></p> <p>○Starting out →Your Turn →Enjoy Communication の流れになっており、ゴールの共有→重要センテンスの習得→習得事項を使って相手とやり取りしながら、自分の思いを伝えるという流れが毎単元設定されている。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○アルファベットや単語、英文にそれぞれイラストや写真が記載されており、内容や文の構造をイメージしやすい工夫がある。また、掲載している単語の数が多く充実している。</p> <p>○デジタル教科書を活用することによって音声や動画コンテンツが充実し、繰り返し音声を聞き、英語の音やリズムに慣れ親しむことができる。また、字幕機能で音声と文字を一体的に学ぶことができ、個別最適な学びに適している。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○第5学年では、自分のことを表現する部分に網掛けがしてあり、自己表現がしやすく、英語の語順や意味に慣れ親しむことができる。</p> <p>○考えたことや慣れ親しんだ英文を書く項目が設けてある。学習者用デジタル教科書では、拡大や色の変更なども容易で主体的に学習ができる設計となっている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○単元のゴールのアウトプット活動へ向かって、インプット活動、表現の練習をする活動があり、見通しをもちやすく学習内容がわかりやすい。学習者用デジタル教科書で繰り返し音声を聞いたり、興味のある国や有名な場所、お祭りの様子を知ることができたり、個別最適な学びに役立つ工夫がみられる。また、既習事項をSmall Talkで活用する機会が多く設定されており、学習をスパイラルに学び、確実に力を付けることにつながる。</p> | |

種目（英語）

| | | |
|---------------------|--|---------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>Junior Sunshine</p> | <p>9</p> <p>開隆堂</p> |
| <p>内 容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○文を指で追いながら、見たり聞いたりする活動があり、読む活動に親しみ、アルファベットの定着を促す工夫がある。</p> <p>○学習者用デジタル教科書の歌やチャンツ、単語練習などを繰り返し行うことで児童が英語の音やリズムに慣れ親しむことができる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○年3回用意されているLet's checkでは知識・技能、思考力・判断力・表現力等が確認できる問いやInterviewテストの活動と振り返りも設定されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○海外とのつながりだけでなく、地域のよさや日本の紹介などの郷土愛、SDGsや環境問題などの社会的課題を取り扱うなど様々な分野で外国語を通して文化や多様性を学ぶことができる工夫がある。</p> <p><コミュニケーションを促す工夫></p> <p>○活動ごとにペアやグループで自らの興味・関心に合わせて考えを伝え合う学習があり言語活動の充実につながる工夫がある。</p> <p><小学校外国語活動や中学校との円滑な接続></p> <p>○付属のWord Bookには、中学校においても頻出の単語に★印が付いており、中学校での外国語科の授業を意識して学習をすることができる。</p> <p><学びの見通しと振り返り></p> <p>○単元ごとの目標と各時間の目標を児童にわかりやすい言葉で表記して活動の見通しをもたせやすい。また、巻末にCAN DOリストがあり、単元毎の達成状況を自己評価することができる。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○有名な世界遺産やスポーツ選手、世界で活躍する日本人などの紹介がされており、児童にとって海外に親しみをもつことができる工夫がある。</p> <p>○学習者用デジタル教科書により、読む活動では、音に合わせて文字が赤く色が変わる、Singでは、児童に親しみのある童謡のリズムとアニメーションに合わせて楽しく学ぶことができるなど、英語の音と文字のつながりに慣れ親しむことができる。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○前年度の学習の復習ページや授業で使える20の表現などの記載があり、繰り返しの学習で見に付ける工夫がある。</p> <p>○Sounds and Lettersのページでは、始点・終点・曲がる位置の目安を点で示してある。また、ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインの紙面構成になっている。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○単元ごとに目的や場面、状況の設定がされており、学習状況を掴みやすい構成になっている。また、小学校で学習した内容の復習だけでなく、中学校の先生への自己紹介を考える活動など中学校での学習を見通した内容となっている。また、学習者用デジタル教科書を活用することで、音声への慣れ親しみだけでなく、海外の様子や文化などを目や耳で感じることができ、児童にとって英語がより身近になり、関心を高めることができる。</p> | |

種目（英語）

| | | |
|------------------|--|-------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>CROWN Jr.</p> | <p>15 三省堂</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○Sound Chant, Word Chant, Phrase Chantの3種類のチャンツが全てのLessonにあり、単語やフレーズを何度も口ずさむことで会話に生かすことができる。 ○デジタル教材では、読む活動において音声に合わせて文字の色が変化し、目や指を動かしながら音声と文字を一体的に捉える工夫がある。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○Tryでは、買い物や道案内、一日の生活、など日常生活の中で出会う特定の場面設定があり、児童が想像力を働かせながら主体的に学習に取り組むことができる工夫がある。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「世界のおはなし」や「Hello, World」など日本の伝統文化や子供たちにとって親しみのある海外の有名な物語、興味を引くお祭りなどが紹介されており、異文化理解や海外への興味関心を促す工夫がある。 <コミュニケーションを促す工夫> ○単元の中で聞く活動、短文を言う活動、話す活動と学習をしていき、スムーズに会話ができるようなスモールステップでの単元構成となっている。 <小学校外国語活動や中学校との円滑な接続> ○登場人物の中学校見学という物語を通して児童にとって関心の高い部活動や授業の様子などを視覚的にも捉えることができ、自らの中学校生活を思い描きやすい。 <学びの見通しと振り返り> ○Hop, Step1, Step2, Jumpと小さなゴール設定が目に見える形で掲載されており、見通しをもちやすい。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○児童が親しみやすい写真やイラストが豊富に使われてい。ページに余白もありすっきりしていて全体的に見やすい構成となっている。 ○学習者用デジタル教科書では、歌やチャンツを聞くことができ、英語の音への慣れ親しみや、用法の活用例などを自然と学ぶことができる工夫がある。また、速度調整が容易で英会話のテンポやリズムを自分のペースで感じることができる。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○第5学年巻末のアルファベットカードのサイズが大きく、さらに色分けされており、児童にとって字形以外にも視覚的に捉えやすい工夫がある。 ○構成を一定にし、わかりやすいレイアウトになっている。また、専用手書きフォントが採用されているとともに、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○聞く、練習をする、話す、スモールステップと繰り返して学習ができる単元構成となっており、丁寧である。ほかにも過去形を扱う単元が「I went to the beach.」「It was green.」の2つに分かれており、一般動詞とBe動詞を区別するなど児童のつまづきを考慮している。学習者用デジタル教科書は、アニメーションコンテンツが豊富にあり、児童の学習段階に応じて活動の様子をイメージしやすいものとなっている。</p> | |

種目（英語）

| | | |
|------------------|---|------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>ONE WORLD Smiles</p> | <p>17 教出</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○Sounds and Lettersでは、英語とカタカナ語の違いに気を付けて聞く活動があり、日本語との違いに気付くことができるようになっている。 ○単元で使うキーセンテンスやワードをLet's SingやLet's Say It Togetherで確認をしたり、慣れ親しんだりすることができる。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○Thinkコーナーでは、お世話になった人に簡単な手紙を書くなど、伝える内容やコミュニケーションについて考える活動が用意されている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○World of Smilesでは、同世代の世界の子供の声や生活の様子などが盛り込まれており、世界を身近に感じるとともに、文化の違いに気付かせる工夫がある。 <コミュニケーションを促す工夫> ○子供たちが主体的にコミュニケーションを図ることができるようなActivityが提案されている。また、ピザの材料や時間割などが巻末にシールで付属しており、子供たちが楽しく活動できるように工夫されている。 <小学校外国語活動や中学校との円滑な接続> ○文法的事項について色分けされた絵カードの並び替え活動で、日本語と英語の語順の違いに気付かせるような手立てがある。 <学びの見通しと振り返り> ○教科書の巻頭ページには、1年間の学びの歩みが見通せる「学びのロードマップ」がある。また、単元ごとにゴールと振り返りが設定されており、振り返りでは知識技能について3つ、思考・判断・表現について1つ色を塗って振り返りができる。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○詳細な日本地図や世界地図が掲載されており、子供が表現したい言葉を見つけたり、地図を見ることを通して新たな発見をしたり、子供の関心を高める資料が豊富にある。 ○学習者用デジタル教科書では、録音・再生ができ、自分の現在の発音を確認しながら練習することができる。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○Activityでは、やり取りの例文に色掛けがしてあり、自分の言葉に置き換えしやすい工夫がある。 ○ユニバーサルデザインの観点に立って編集されており、書体はユニバーサルデザインフォント、紙面全体、文字や図版については、カラーユニバーサルデザインが採用されている。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○「動画で伝えよう」、「翻訳ロボットに訳してもらおう」などICT活用を前提とした内容が含まれており、積極的な活用が期待できる。ICT活用により、英語の音声を繰り返し聞くことや、速度の変更、字幕機能などを使って個別最適な学習をすることができる。また、外国人や車いすに乗った人、高齢者など様々な人がイラスト、写真などで登場し、多様性に配慮した教科書となっている。</p> | |

種目（英語）

| | | |
|------------------|--|------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>Here We Go!</p> | <p>38 光村</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○付属のPicture Dictionaryには、学習する単語だけでなく、Small-Talk等のやり取りの際に活用できる相槌の仕方や会話を広げる言い方が多く記載されている。 ○Let's write and readでは、書く際に、気を付けるポイントが書いてあったり、単語や文の書き方があったり、書き方のルールについて丁寧に学習できる。 <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○動物を守るポスターを作る、ALTに季節ごとの行事を紹介するなど、目的や場面、状況の設定がわかりやすくゴールに向けて思考、表現する活動が盛り込まれている。 <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「言葉について考えよう」では、日本語と英語の違い、相手に届くのはどちらの言い方か、英語圏で親しまれている歌や物語の紹介などの記載があり、子供たちに海外の伝統や文化に興味をもたせるような工夫がある。 <コミュニケーションを促す工夫> ○アイコンタクト、スマイル、クリアヴォイス、レスポンスなど、非言語的コミュニケーションの大切さに気付きを促す工夫がある。 <小学校外国語活動や中学校との円滑な接続> ○Picture Dictionaryには、第3・4学年で学習した内容をイラスト付きですぐに確認できるページがあるなど、スムーズな接続ができるような工夫がある。 <学びの見通しと振り返り> ○巻頭に5つの領域に分かれたCAN DOリストが用意されており、一年間でできるようになることが明確化されている。また、単元の初めには明確なゴールとそれに向けた小ゴールが示されており、見通しがもちやすい。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○会話を広げることに役立つPlus Oneや、ヒントとなるPhrase Huntのコーナーでは、既習表現を用いて活動を広げるアイデアがあり、個別最適な学びに適している。 ○学習者用デジタル教科書では、速度調整、字幕の切り替えが可能である。またチャンネル動画は、字幕のオン・オフ、カラオケ用など多様な使い方ができ、個に応じた学習に適している。また、my単語機能も使用できる。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○Picture Dictionaryには、700以上の単語が網羅されており、規則変化をする過去形や人気のある職業である美容師や保育士などの語が掲載されている。 ○世界の様々な国の紹介があり、各国の英語話者がそれぞれの発音で英語を話しており、世界標準語としての英語を再確認できるとともに、言葉を通して多様性を養うことにつながる。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○ICT活用により、リスニング用の音声だけでなく、アニメーションや実写動画など豊富な動画コンテンツを視聴することができ、児童の学習への意欲を高めるとともに、海外の文化や様子を知ることから多様性を養ったり、日本との違いに気付かせたりする工夫が見られる。また、SDGsやキャリア、防災に関する内容を取り上げるページもあり、英語のみでなく様々な面に視野を広げる工夫がなされている。</p> | |

種目（英語）

| | | |
|---------------------|---|----------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>Blue Sky elementary</p> | <p>61</p> <p>啓林館</p> |
| <p>内容</p> | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○単語やフレーズを学習できるchantには英語の強弱がわかる印が付けられているため、日本語にはない強弱を意識しながら学習することができる。</p> <p>○catとcut、cupとcapなど、日本語にはないフォニックスの音読みとスペリングとを比較し、慣れていくような工夫がある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○年3回あるREVIEWでは、目的・場面・状況に応じて、相手意識をもって自分のことを話す活動が設定されているため、自分の考えや気持ちを表現する力を定期的につけることができるようになっている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○Did you know?では、海外から見た日本や日本の立場、海外の生活や文化、世界の問題などがクイズ形式で示されているなど、子供たちに日本や海外のことに興味をもたせるような工夫がある。</p> <p><コミュニケーションを促す工夫></p> <p>○教科書の初めにコミュニケーションに大切なことのページ、後ろには「会話を楽しむフレーズ集」があり、様々な相槌や会話を広げる質問ができるようになっている。</p> <p><小学校外国語活動や中学校との円滑な接続></p> <p>○第5学年のPre Unitでは、中学年で学習した語句や表現を復習する学習が設けられている。また、第6学年最後のUnitでは、中学校生活について考える内容となっている。</p> <p><学びの見通しと振り返り></p> <p>○単元の初めに単元全体のゴールと各ステップのめあてが明示してある。また、ステップごとにできたかの確認ができる「できたかな」が設定されている。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○タブレットやパソコンを用いているイラスト・写真・映像がたくさんあり、コミュニケーションのツールとしてのICT活用例が示されている。また、音声、映像共に豊富なコンテンツがある。</p> <p>○学習者用デジタル教科書では、音声の速さ、字幕が選択できる。また、デジタル教科書にマーカーで線を引いたり、手書きで書き込んだり、テキストボックスを追加し打ち込んだり、リンクや画像の追加ができるようになっている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○単元初めのIntroductionのページには、単元で学習する表現や既習表現が多く含まれており、子供たちの関心を高める工夫がある。</p> <p>○巻頭に英語を学習する意味について示すとともに、感性症流行時においても学びを止めないため、学習に必要な音声や映像をQRコードから確認し、練習ができる。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○教科書内に子供たちが自分の思いを記述する項目がたくさんあり、学習事項を表現することができる。また、教師が分析・評価がしやすい。ICT活用により、歌やチャンツを聞くことができるほか、豊富なアニメーションや動画を見て、学習することができる。また、英文Makerでは、言いたい語句を選択し、音声を聞くことができるなど、個別最適な学びが充実している。</p> | |

種目（ 道 徳 ）

| | | |
|------------------|--|------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>新編 新しい道徳</p> | <p>2 東 書</p> |
| <p>内 容</p> | <p><道徳科の目標に関わる工夫> ○教材末の「考えよう」に、教材の中で道徳的価値に迫ることができる発問が◎で示され、自分との関わりで理解させる工夫が見られる。 ○これまでの自分を振り返り、自己を見つめる発問が教材末の「考えよう」に○で示され、自己の生き方についての考えを深めさせる工夫が見られる。 ○道徳的判断力、道徳的心情、道徳の実践意欲と態度のそれぞれを育てることを意図した教材をバランスよく配置する工夫が見られる。 <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○安全、いじめ、情報モラル、いのち、自分自身の5つについて、ユニットとしてつながる・広がるページを設定し、連続して学べるよう配置する等の工夫が見られる。 ○登場人物の心情の表現を抑制し多面的・多角的に考えたり、見開きの写真で感動を覚えさせたりする工夫が見られる。 <発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○絵や写真を多くし楽しむ低学年、身近な教材文で価値理解を深める中学年、多様な資料から自己の生き方を考える高学年と発達段階に即した工夫が見られる。 ○「考えよう」に子供のキャラクターで学習への投げかけが示され、自己の生き方について深く考えられる工夫が見られる。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○「ちょっと話し合ってみよう」「考えるためのツール」で、自分の考えを可視化したり、話し合いをしたりしやすくする工夫が見られる。 ○全ての学年に、問題解決的な学習や役割演技・動作化など体験的な学習が位置づけられ、多様な指導方法が行える工夫が見られる。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○絵本、物語、生活文、作文、ノンフィクション、偉人、現在活躍している人物など多様なジャンルの読み物教材を掲載し、学習意欲を喚起する工夫が見られる。 ○児童の考えを誘導しないよう表現を工夫したり、価値に迫りやすい場面に挿絵を入れたりして、教材を効果的に活用できるよう工夫されている。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○当該学年の一つ下の学年の漢字で表記したり、固有名詞にはふりがなを振ったりして内容を把握しやすくさせる工夫が見られる。 ○教材冒頭に、内容項目を表す短い主題名と教材名を示し、シンプルな導入ができるよう工夫が見られる。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○1時間の学習の流れが一目でわかり、柔軟に活用できるように工夫されている。「考え、議論する道徳」を実現するために教材の練り上げを行い、必要のない文言を削減したり、価値に迫りやすい場面の挿絵を追加したりしている。全ての教材に、「つながる・広がる」の項目があり、学習が日常生活につながるよう工夫が見られる。いじめ防止は、丁寧に繰り返し考えられるような工夫がされ、いじめ防止に関わる3つの「ユニット」には、とびらページを設け、分かりやすくなっている。</p> | |

種目（ 道 徳 ）

| | | |
|---------------------|---|----------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>小学道徳 はばたこう明日へ</p> | <p>17</p> <p>教 出</p> |
| <p>内 容</p> | <p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材末の「考えよう」で、教材を通して道徳的価値について考える発問を例示し、児童が自分との関わりで理解していく工夫が見られる。 ○教材末の「深めよう」に、児童が自己を見つめる発問が例示され、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めさせる工夫が見られる。 ○自律した人間として他者とよりよく生きるための基盤としての道徳性を育成するために、年間を通して多種多様な教材を掲載する工夫が見られる。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめ、情報モラルは全学年、高学年は人権、自然環境、中学年は伝統文化と国際理解、低学年は生命について教材等をユニット化して配置する工夫が見られる。 ○SDGsに関連する教材、食育や福祉、防災等を多様な教材によって、児童一人一人が問題意識をもち多面的・多角的に考えたりすることができる工夫が見られる。 <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○発達の段階に即してねらいを達成できるよう、低学年は物語教材を、中学年は生活教材を、高学年は人物教材を中心に教材を系統的に掲載するなど工夫が見られる。 ○全教材に「導入」「考えよう」「深めよう」を設け、自らの考えの変容を実感できるよう工夫が見られる。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年の冒頭に「学びのガイダンス」を、各教材末に「学習のてびき」を設け、話し合ったり考えをまとめたりする言語活動を充実させる工夫が見られる。 ○問題解決的な学習に適した教材や、道徳的行為に関するモラルスキルトレーニングなど体験的な学習に適した教材を全学年に取り入れる工夫が見られる。 | |
| <p>資 料</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○生活文、ノンフィクション、物語、童話、絵本、伝記、評論、一枚絵形式、マンガ形式など多様な読み物教材を掲載し、学習意欲を喚起する工夫が見られる。 ○考えを深める場面に、挿絵、写真、図が適所に配置され、教材を効果的に活用できるような工夫が見られる。 | |
| <p>表記・表現</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○読み物教材の漢字や、方言、外国語については振り仮名が、理解が難しい言葉には解説が示されるなど、教材の内容を把握しやすくさせる工夫が見られる。 ○教材冒頭に、内容項目を端的に示した主題と、児童の興味・関心を高めるタイトルを示す工夫が見られる。 | |
| <p>総 括</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○全ての学年で巻頭ページに道徳で学習すること、「学び方」のガイダンス、学習の広げ方が示され、考え議論する授業の実現を目指した工夫が見られる。巻末には児童の発達の段階に即した「資料」を掲載し、児童が問題に直面した時の参考にしたり、思考を深めたりすることができるような工夫をしている。教材については、定番教材から人物教材、絵本、イラスト、マンガ、現代的な課題など、多様なものが掲載され、さまざまな角度から物事を考えられるように工夫されている。 | |

種目（ 道 徳 ）

| | | |
|---------------------|---|---------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>道徳 きみが いちばん ひかるとき</p> | <p>38</p> <p>光村</p> |
| <p>内 容</p> | <p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材の冒頭に、児童への投げかけがあり、教材の内容や道徳的価値を自分との関わりで考えさせる工夫が見られる。 ○教材末に「考えよう・話し合おう」の発問が示され、多面的・多角的に考えたり、自分の生き方と関わらせて考えたりできるよう工夫が見られる。 ○児童の1年間の生活と成長に関わるように教材を配置するとともに、道徳科の学びを日常生活や他教科等で生かし、道徳性が育まれるよう工夫が見られる。 <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ」「情報モラル」「環境」「共生」の4つを、複数教材とコラムで構成する「ユニット」を設置し、児童が深く考えられる工夫が見られる。 ○生命について年間3単元位置づけるとともに、「感じよういのち」のページを設け実感させる工夫が見られる。 <p><発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童が登場する生活文、伝記などの偉人、現在活躍する人物など発達段階に即した教材を掲載してねらいを達成できる工夫が見られる。 ○学年にふさわしい教材により、児童が登場人物の生き方に共感し、深く考え、生きる喜びや勇気を感じ取れるようバランスよく掲載する工夫が見られる。 <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年、1時間目に道徳科の学びについて、2時間目に教材を使つての考え、実際の学び方を示し、考え、議論する道徳科になるよう工夫している。 ○「学びの準備」に書いてから考え合ったりする教材や演じて考えたりする教材など、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習ができる工夫が見られる。 | |
| <p>資 料</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○生活文、物語、ノンフィクション、定番教材のほかに、漫画形式の教材、見開きの1枚絵の教材など児童の興味や関心を喚起する工夫が見られる。 ○イメージを広げる絵や写真、図やグラフなど教材内容の理解を深め、教材を効果的に活用できる工夫が見られる。 | |
| <p>表記・表現</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○各学年の配当漢字の振り仮名や、難しい用語の解説があり、教材の内容を把握しやすくさせる工夫が見られる。 ○教材冒頭に、内容項目と日常生活をつなぐ問いかけをキャラクターが行うとともに、内容項目を簡単な言葉とマークで示し、学びやすくさせる工夫が見られる。 | |
| <p>総 括</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○全学年、「導入→教材→学習のてびき」で構成されており、1時間の流れが分かりやすくなるように工夫されている。第1教材を「道徳が始まるよ」とし、第2教材で「道徳の学び方」の例を示すなど、道徳の学びの土台をつくる工夫が見られる。学習の手引きの中の「つなげよう」で他教科や生活につながる投げかけを示し、全教育活動を通じて道徳性を育むことができるよう工夫が見られる。巻末に「学びの道工具箱」として思考ツールの活用を示し、学びを豊かにする工夫が見られる。 | |

種目（ 道 徳 ）

| | | |
|------------------|--|----------------------|
| <p>書名 項目</p> | <p>小学道徳 生きる力 小学道徳 生きる力 道徳ノート</p> | <p>1 1 6 目 文</p> |
| <p>内容</p> | <p><道徳科の目標に関わる工夫> ○巻頭の「道徳のとびら」で学習内容を示すとともに、各教材の冒頭にキーワードを示し、道徳的価値と自分との関わりで理解させる工夫が見られる。 ○全学年巻頭の「道徳の学び方」で、自分で深く考えたり、グループで話し合ったりすることの重要性を示し、児童が多面的・多角的に考えられる工夫が見られる。 ○教材の末尾に「考えよう」発問例を示し、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する工夫が見られる。 <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○特に、いじめ防止の観点から年3回「人の関わり」を視点にいじめを直接的に扱った教材、間接的に扱った教材など3教材とコラムをユニットとして設定している。 ○人と支え合って生きていくことの大切さについて考えられる福祉、人権、キャリア、防災教育を扱った教材を掲載する工夫が見られる。 <発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○入門期「スタートカリキュラム」を意識した内容と自己肯定感、中学年は周囲との協力、高学年は中学校への接続も視野に系統性を意識した配置となっている。 ○人間の持っている弱さと乗り越えようとする気高さについて考えることができる教材により、夢や希望のある生き方について考えさせる工夫が見られる。 <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○教材文の最後に、「考えみよう」とねらいに関して追究できる発問が例示され、自分の考えをもとに議論できる工夫が見られる。 ○年間5教材「ぐっと深める」として、問題解決的な学習や体験的な学習が展開できる具体例を示す工夫が見られる。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○生活文だけでなく、文学作品、スポーツ選手、芸術家など幅広いテーマの教材により、児童の学習意欲を喚起する工夫が見られる。 ○教材を効果的に活用するために、考えさせたい場面で挿絵や写真が見開きに2つ程度ずつ配置する工夫が見られる。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○当該学年の配当漢字を用い、当該学年以上の漢字やキーワード等には全てにふりがなを付けたり、欄外に難解な語句の解説を掲載したりするなどの工夫が見られる。 ○冒頭に、短い言葉で主題名、児童への投げかけの言葉、題名、リード文を示し内容項目と教材をつなぐ工夫が見られる。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○教材と道徳ノートの2冊構成となっている。「道徳ノート」は、簡単なレイアウトになっており、学習内容について自由に書き込んだり、学びを蓄積したりすることができる。児童を励ます評価や、保護者と連携に活用することもできる。全ての学年で、冒頭に気付く発問、教材末の「考えてみよう」で教材のねらいに迫る発問、「見つめよう・生かそう」で気付きや日常生活につながる発問が示され、道徳科の学び方を身につけ、学びたくなる、考えたくなる紙面構成の工夫が見られる。</p> | |

種目（道徳）

| | | |
|---------------------|---|----------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>小学道徳 ゆたかな心</p> | <p>208</p> <p>光文</p> |
| <p>内容</p> | <p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <p>○教材文の最後に、「考えよう」と道徳的価値の意義や大切さと自分との関わりについて考えられる発問を例示する工夫が見られる。</p> <p>○全学年思考ツールが示され、多面的・多角的に考えたり、全教材末の「まとめよう」の例示により、自己の生き方についての考えを深めたりできる工夫が見られる。</p> <p>○教材末の「ひろげよう」で、学んだことを他教科や生活で生かせるような発問が示され、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育成する工夫が見られる。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○全学年に重点主題として「いじめを生まない心」を配置し、直接的・間接的にいじめについて児童自身の問題として捉えられるような工夫が見られる。</p> <p>○全学年、生命、いじめなど現代的な課題について小単元のように連続して配置する工夫をしている。特に、レジリエンスについて配置している。</p> <p><発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○発達段階に即して、低学年ではレジリエンス、中学年では協力、高学年では共生についてコラムなどと連続して配置し深く考えられる工夫が見られる。</p> <p>○巻頭のオリエンテーションのページに、道徳の1時間の授業の流れを視覚化したり、学習と日常生活とのつながりを図式化したりして深く考えられる工夫が見られる。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○各学年には学び方、思考ツールなどのページがあり、児童が自分の考えを整理し、議論しながら考えを深めていく手立てが示されている。</p> <p>○全学年巻頭の「道徳の時間は、こんな時間です」で、「やってみて考えよう」やコラム「みんなでやってみよう」で体験的な学習を例示するなどの工夫が見られる。</p> | |
| <p>資料</p> | <p>○生活文、ノンフィクション、漫画など多様な教材を掲載するとともに、教材の内容をとらえやすくするため発達段階に応じた文章量に配慮する工夫が見られる。</p> <p>○写真やイラストが引き立つレイアウトにより、教材を効果的に活用できるよう工夫が見られる。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○原則漢字は前学年までに習ったものを使用し、4年生以上は当該学年以上の漢字には振り仮名をふったり、わかりづらいことばには脚注で説明したりしている。</p> <p>○冒頭に、主題名、児童への投げかけ、題名を示し、内容項目と教材、児童の思考がつながるよう工夫が見られる。</p> | |
| <p>総括</p> | <p>○「問いを見つける」「考えたくなる」「学びを広げる」という3つの要素で構成され、全ての教材の冒頭に投げかけの発問、教材末に「考えよう」「まとめよう」の発問、「ひろげよう」の発問が示されている。巻頭に、内容項目の4つの視点とともに、自分を見つめ深く見つめる、多様な見方をする、といを見つける、へこんでも立ち直る視点を示したり、道徳の時間の学び方、思考ツール、話合いの仕方、まとめ方を示したりして、道徳科で学ぶ内容と学び方を考えさせる工夫が見られる。</p> | |

種目（ 道 徳 ）

| | | |
|---------------------|---|-----------------------|
| <p>書名</p> <p>項目</p> | <p>新版 みんなの道徳</p> | <p>224</p> <p>学 研</p> |
| <p>内 容</p> | <p><道徳科の目標に関わる工夫></p> <p>○教材文の末尾の、「考えよう」に教材の中心発問と、自己を見つめ考えを深める発問を示し、道徳的価値と自分との関わりを理解させる工夫が見られる。</p> <p>○「深めよう」「心のパスポート」の特設ページを設け、多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めさせる工夫が見られる。</p> <p>○教材末尾に、教材から離れ、より深く考え、見つめるきっかけとなる発問を示し、自立し他者とよりよく生きる基盤としての道徳性を育成する工夫が見られる。</p> <p><現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫></p> <p>○「生命尊重」「多様性」「キャリア」をユニットとして、年間3つ配置している。いじめ防止については生命尊重のユニットに組み込む工夫が見られる。</p> <p>○巻頭ページ「つながる私 広がるわたし」で現代的な課題を絵・写真とマークで例示するとともに、各教材冒頭のマークとリンクさせ意識させる工夫が見られる。</p> <p><発達の段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫></p> <p>○児童の関心が深いテーマや人物を発達の段階に即して取り上げるなどしてねらいを達成する工夫が見られる。</p> <p>○絵本、生活文、マンガ、物語、今を生きる人物、偉人、ノンフィクションなど多様な教材により、深く考え、生きる喜びや勇気を与えられる工夫が見られる。</p> <p><「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫></p> <p>○巻頭ページ「道徳の学習が始まるよ」の「話し合い高め合おう。」「自分を見つめ深めよう。」で演技や書く活動等を例示し、言語活動を充実させる工夫が見られる。</p> <p>○特設ページの「深めよう」「心のパスポート」で問題解決的な学習や体験的な学習を示し、多面的・多角的に考えさせる工夫が見られる。</p> | |
| <p>資 料</p> | <p>○読み物教材では、定番教材だけでなく、人物教材や現代的な課題に対する教材、地域教材など最新の教材を掲載し、児童が意欲を持って取り組める工夫が見られる。</p> <p>○挿絵や図、写真を教材理解するために配置したり、見開きで大きく配置し感動を引き出したり効果的に活用できるよう工夫が見られる。</p> | |
| <p>表記・表現</p> | <p>○当該学年以降の漢字へ振り仮名を振り、難しい用語には脚注をつけるなど教材の内容を把握しやすくさせる工夫が見られる。</p> <p>○冒頭に、題名と児童が考えたいくなるキーワードを示し、道徳科の内容項目との関係を示す工夫が見られる。</p> | |
| <p>総 括</p> | <p>○教科書に、1年間のストーリー性をもたせ、巻頭を導入として、学びへの意欲や課題につなぐこと、1年間の全体像、1時間の学び方を示し、多様な教材を掲載し、巻末には1年間の学びや成長を振り返る構成になっている。読み物教材だけでなく、絵本、マンガ、大きな写真など多様な教材により、考えたいくなる、話し合いたくなる教科書になるよう工夫が見られる。重点テーマをいのちとして、各学年3つの教材とともに異なる内容項目の教材を組み合わせユニット化している。</p> | |